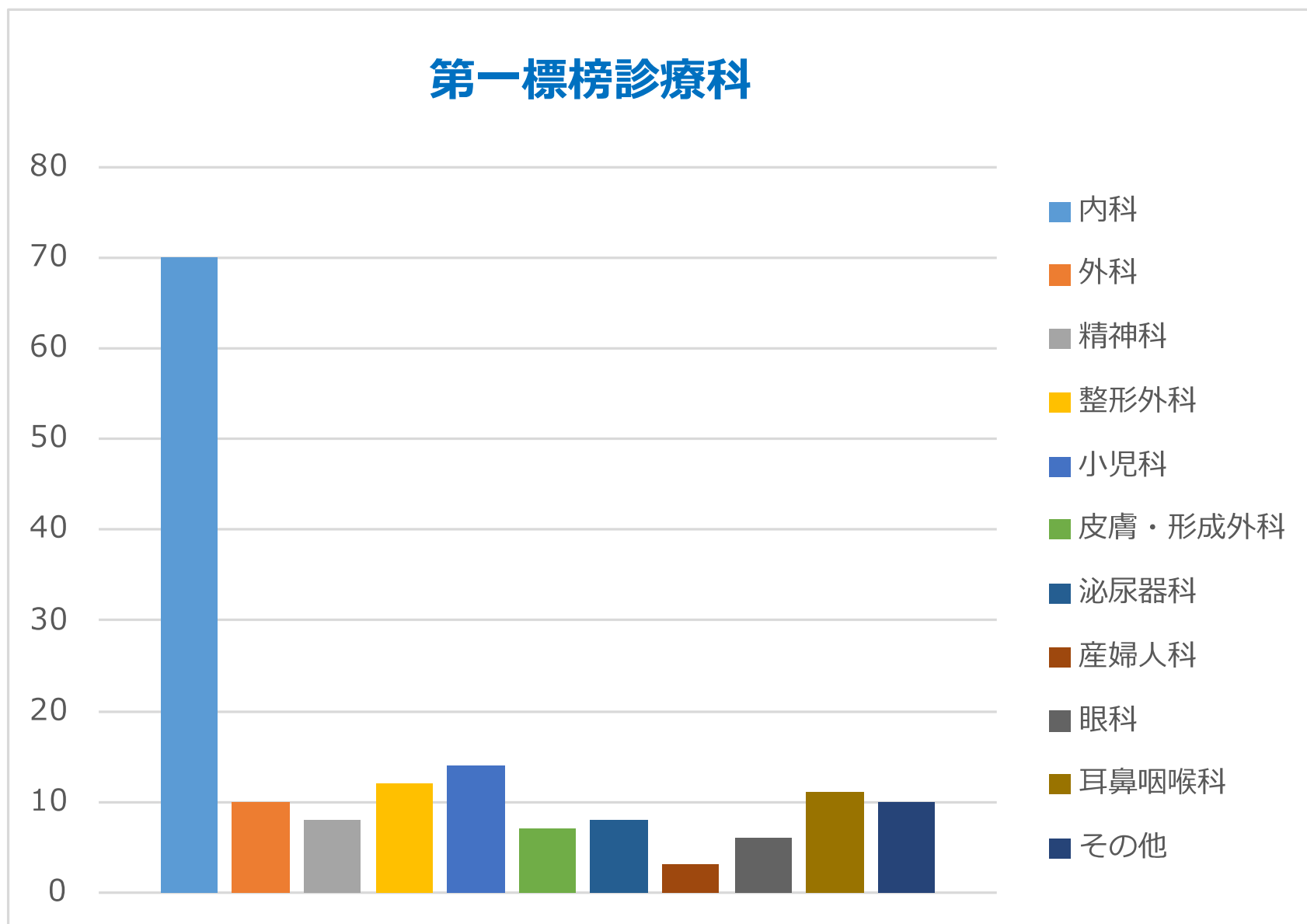
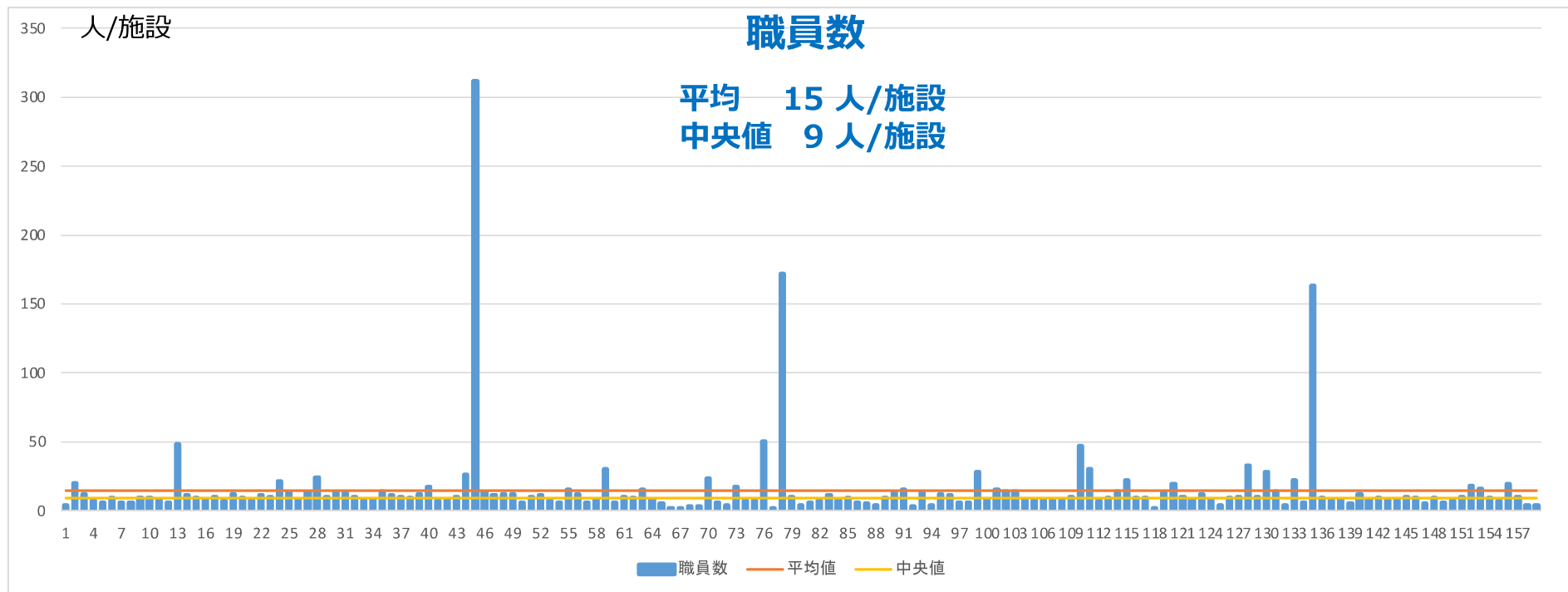
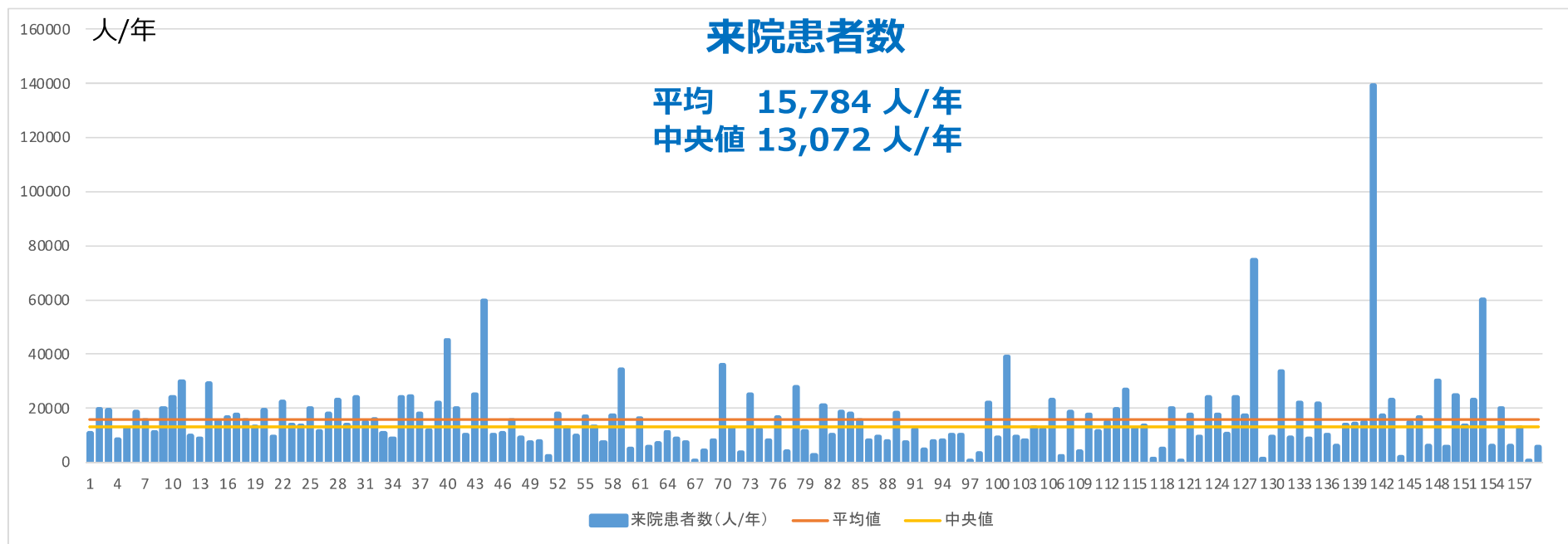
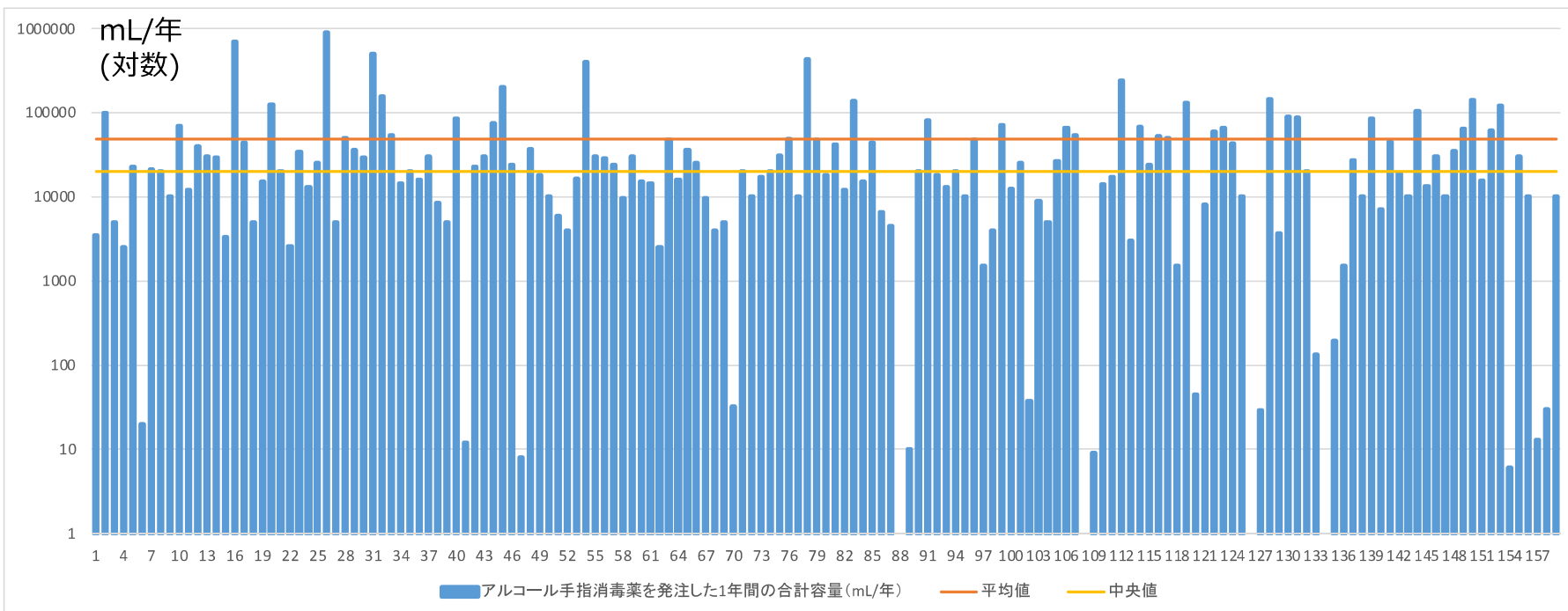
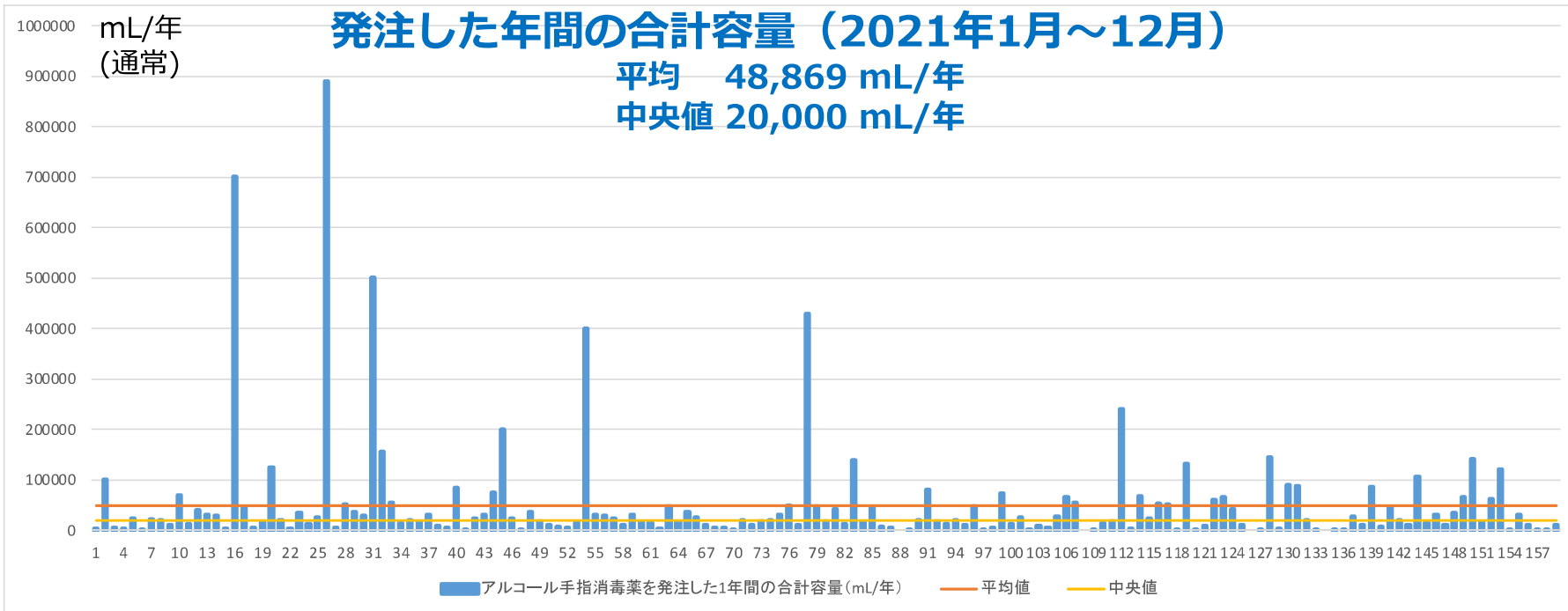


第1回 手指消毒薬サーベイランス結果

159施設から回答







スプレータイプ : 1回 約3mL
 ジェルタイプ : 1回 約1-2mL

WHO 手指衛生

- ・ 10-15秒間擦り合わせる
- ・ 適切な5つのタイミング



職員・患者の実際の使用量は？

職員について
 できれば、診察前後に1回ずつを。



例えば

来院患者 10,000名 x 2回 x 1.5mL
 =目標 30,000mL/年 (x 職員数)

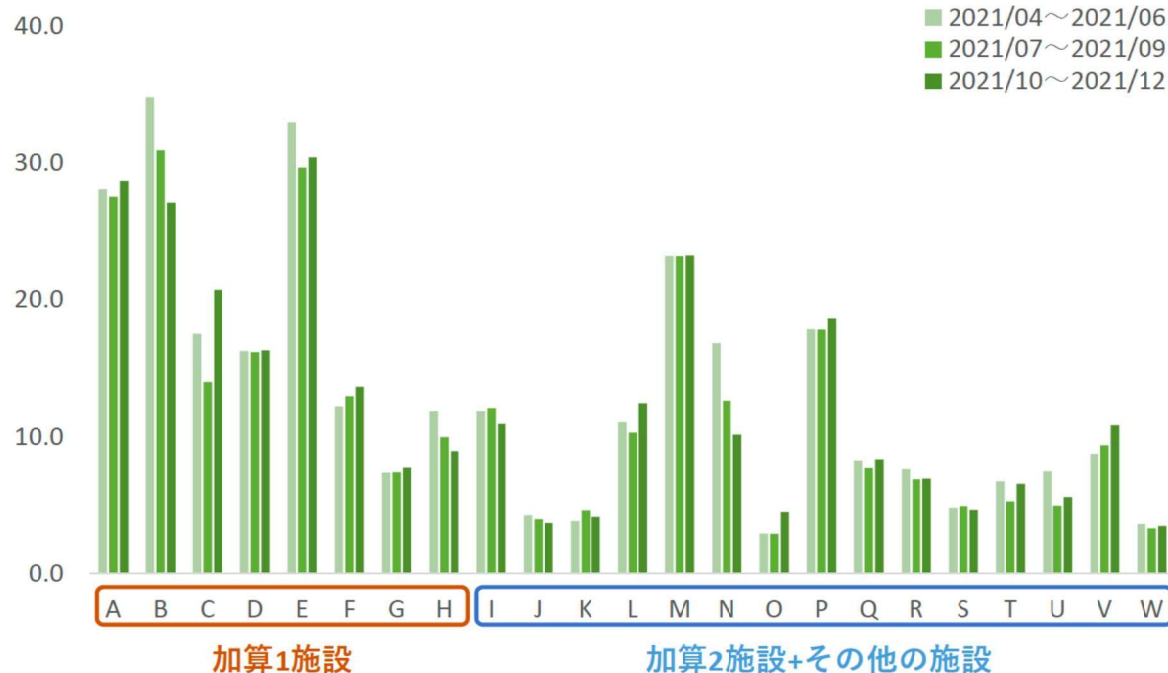
手指衛生が必要な5つのタイミング

【WHO勧告】



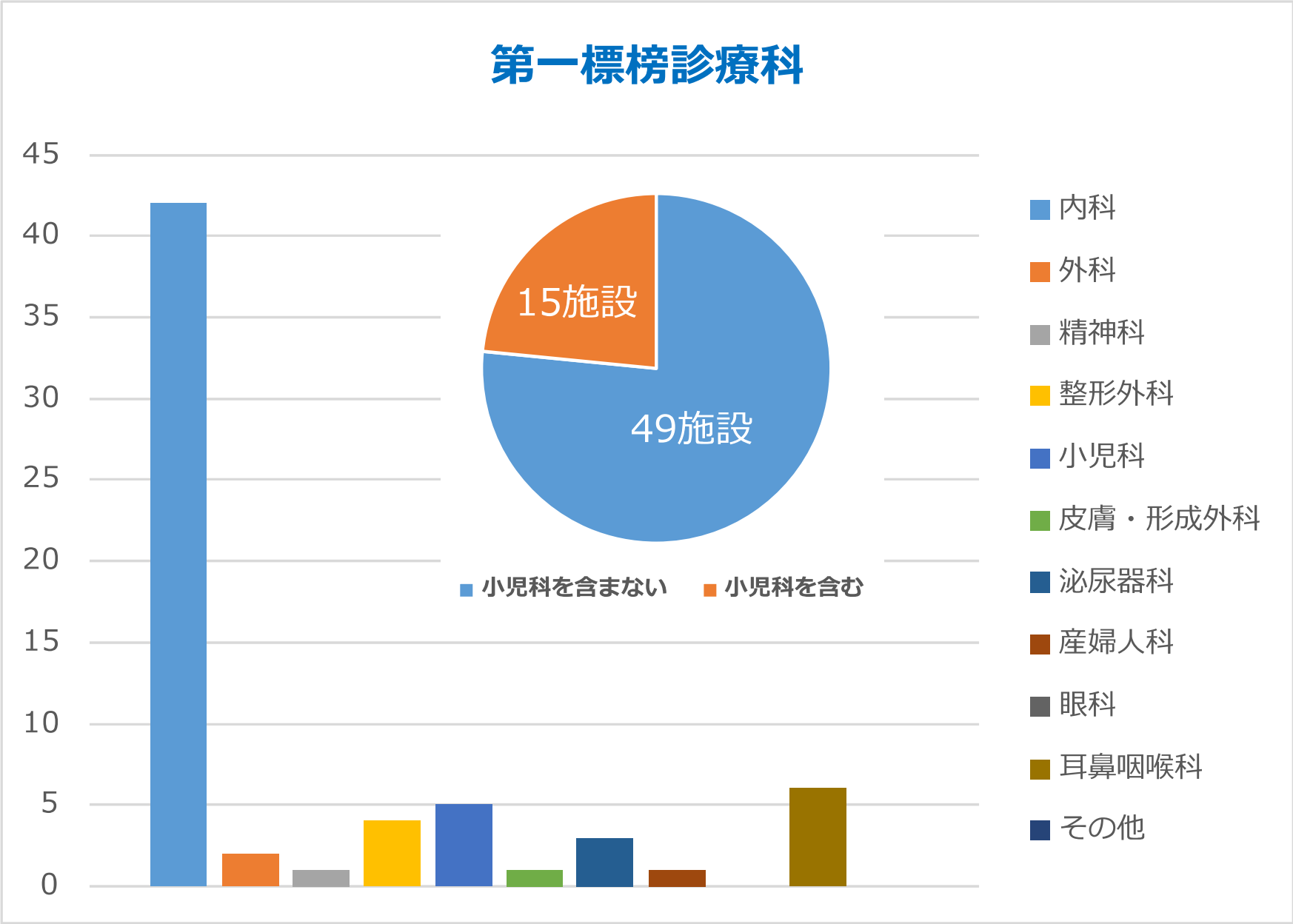
浜松地区 感染防止対策地域連携加算における連携施設 2021年度 手指消毒薬使用量

1日1患者あたりの
 手指衛生回数 (回/人) = 総使用量 (発注量) / のべ入院患者数 x 1回適正使用量 (1.0mL/回)



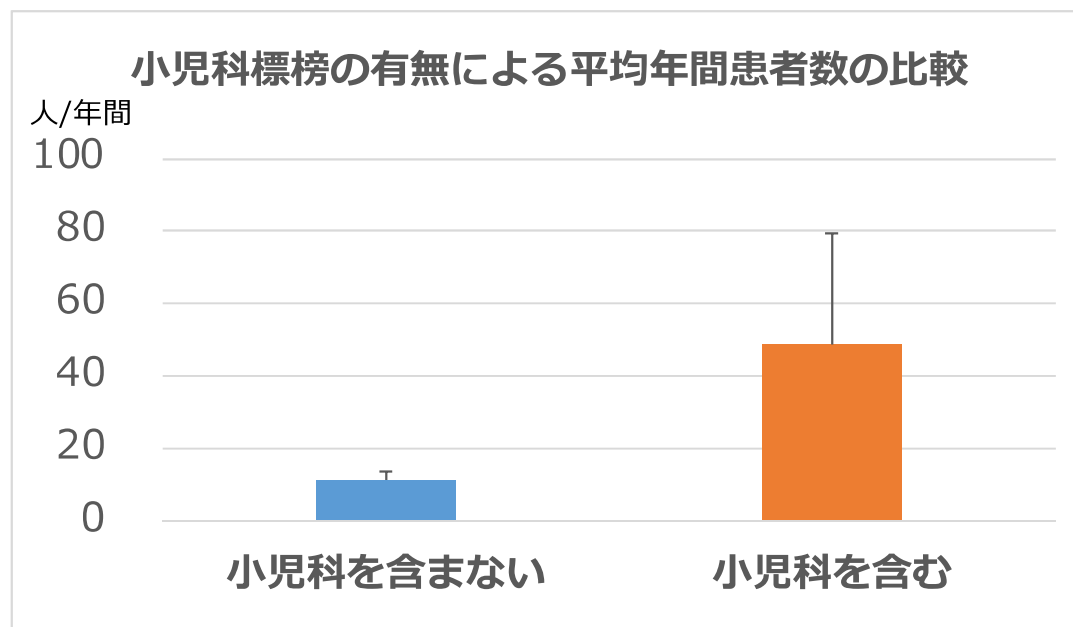
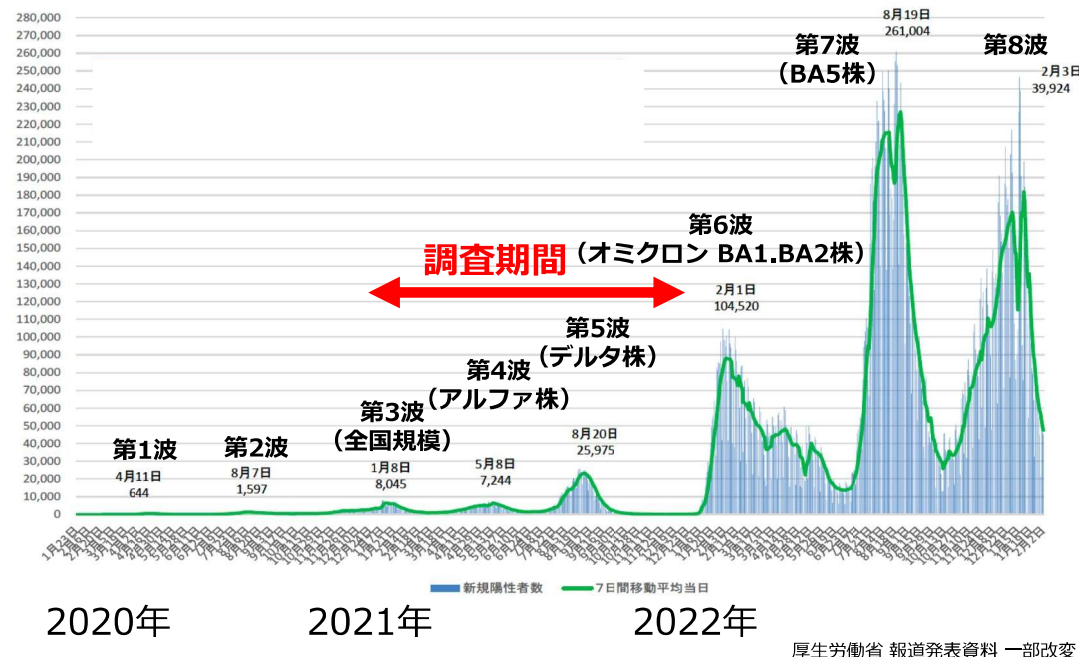
第2回 感染症発生状況サーベイランス結果

浜松市医師会 64施設から回答



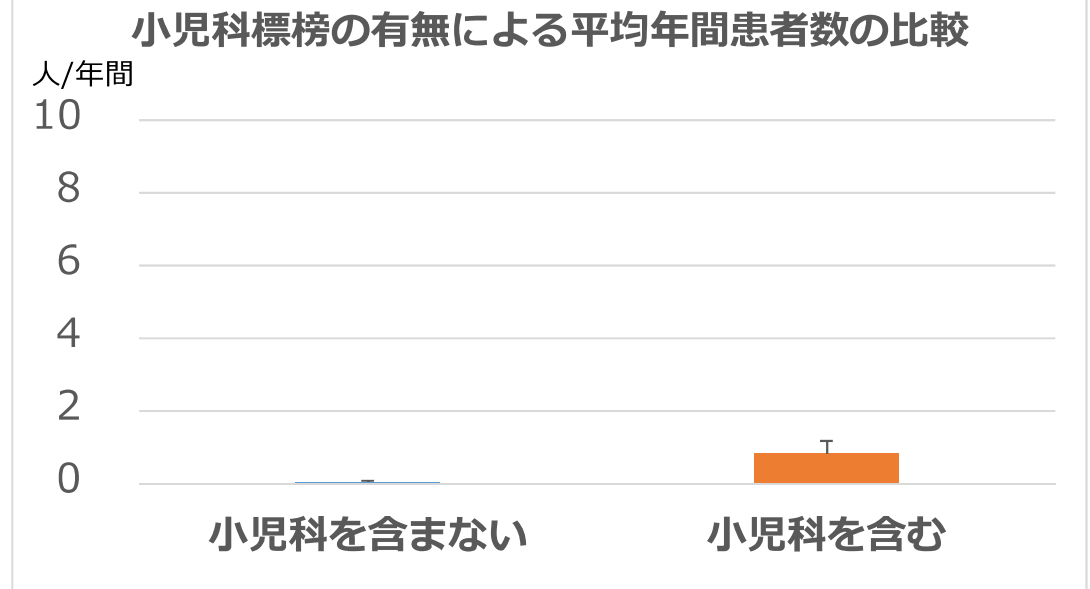
各施設における新型コロナウイルス感染症の年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
463	1	9	2
140	1	8	2
94	1	7	1
49	1	6	5
35	2	5	3
34	1	4	1
32	1	3	2
30	1	2	1
28	1	1	5
22	2	0	16
20	2		
18	2		
17	2		
16	1		
14	1		
12	2		
10	4		



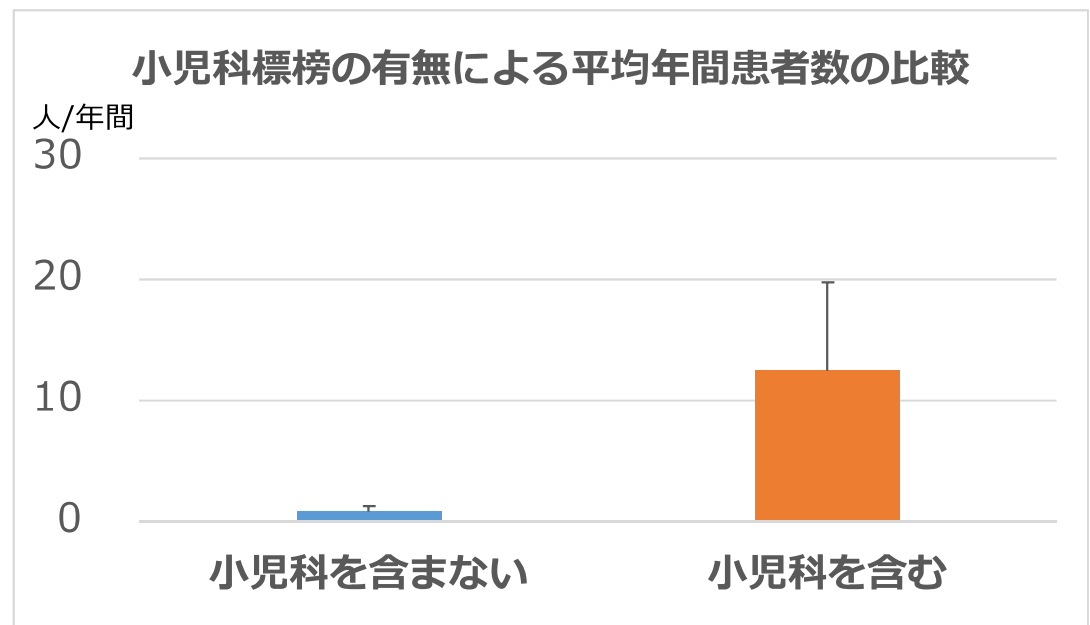
各施設におけるインフルエンザの年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
4	2		
2	2		
1	2		
0	58		



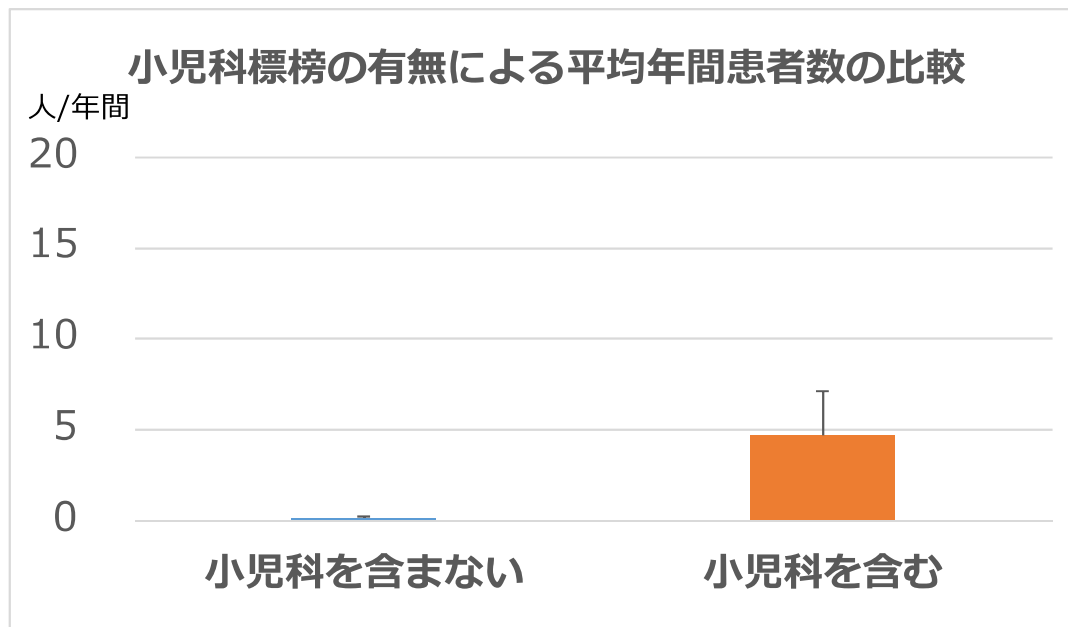
各施設におけるRSウイルス感染症の年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
103	1	3	1
50	1	2	1
26	1	1	1
19	1	0	53
9	1		
5	3		



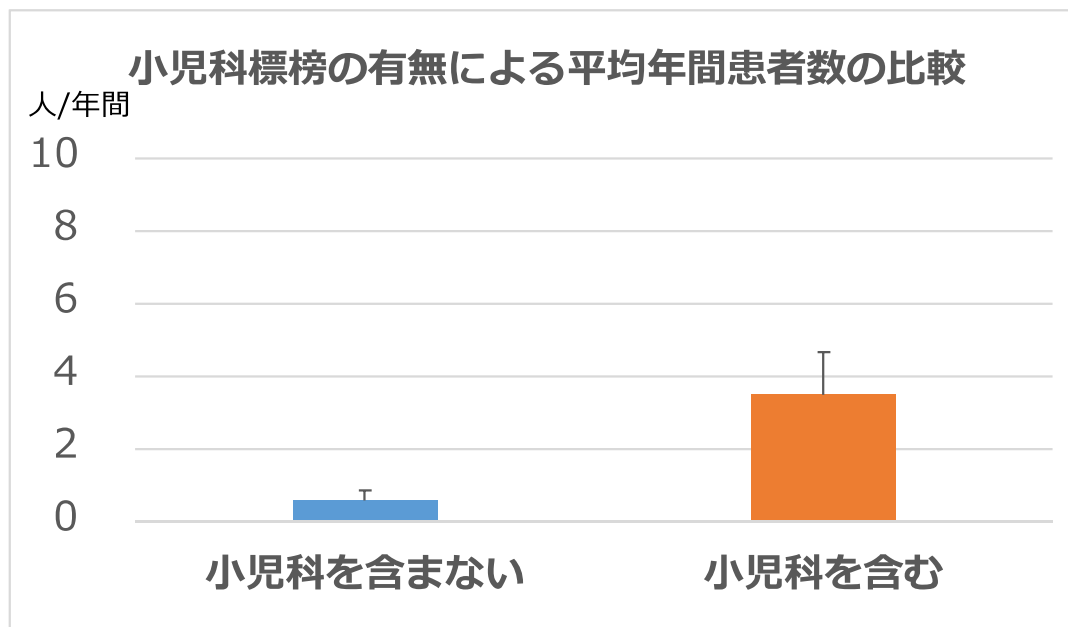
各施設におけるアデノウイルス感染症の年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
30	1	0	54
25	1		
9	1		
4	2		
2	1		
1	4		



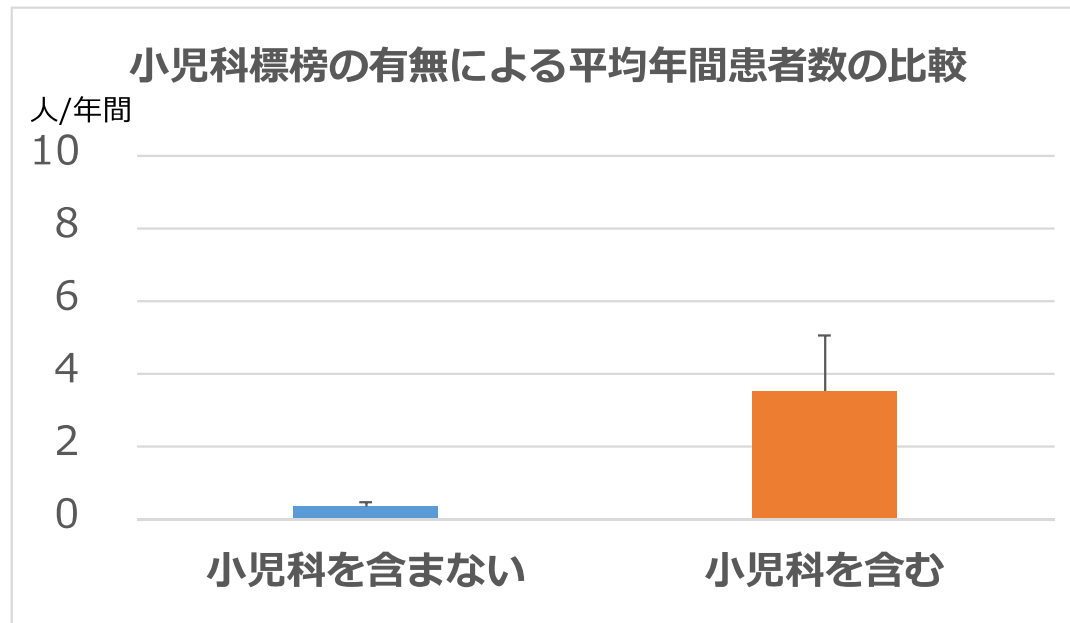
各施設における水痘の年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
15	1	4	1
10	1	2	3
9	1	1	3
8	1	0	49
7	3		
5	1		



各施設における流行性耳下腺炎の年間患者数（2021年1月～12月）

患者数	施設数	患者数	施設数
20	1	1	1
10	2	0	52
6	2		
4	1		
3	2		
2	3		



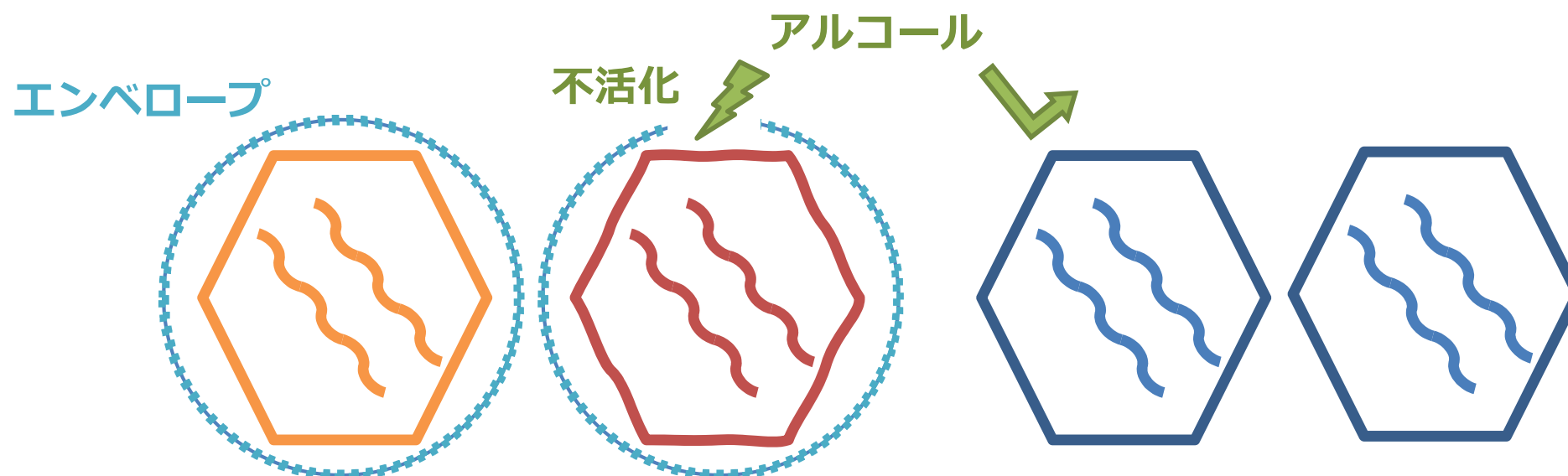
コロナ禍の2021年は、浜松市医師会の多くの施設で新型コロナウイルス感染症以外のウイルス感染症の頻度は減少していたが、標榜診療科に小児科を含む施設においては、ある程度の患者数を認めていた。

ポイントは

小児とエンベロープ（ウイルス粒子を包む脂質を含んだ膜状構造）

エンベロープ・ウイルス	ノンエンベロープ・ウイルス
コロナウイルス インフルエンザウイルス RSウイルス ヒトメタニューモウイルス 麻疹ウイルス 風疹ウイルス 水痘・帯状疱疹ウイルス ムンプスウイルス ヘルペスウイルス B型肝炎・C型肝炎ウイルス	ライノウイルス アデノウイルス コクサッキーウイルス ノロウイルス ロタウイルス ポリオウイルス A型肝炎ウイルス

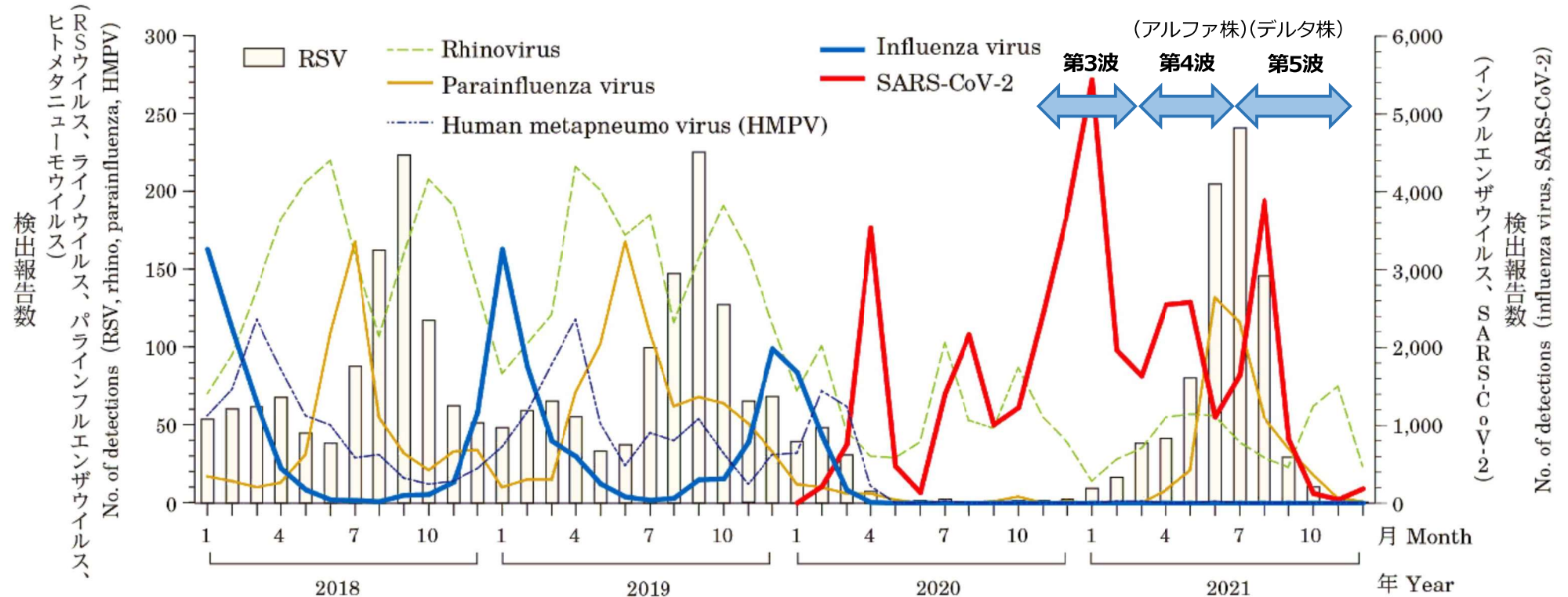
エンベロープを持たないウイルスは
アルコール消毒液が効きにくい事が
 知られている。



全国の月別呼吸器系ウイルス検出報告数

図4. 検体採取月別呼吸器系ウイルス（RSウイルス、ライノウイルス、パラインフルエンザウイルス、ヒトメタニューモウイルス、インフルエンザウイルス、SARS-CoV-2）、検出状況, 2018～2021年

Figure 4. Number of respiratory viruses detected/isolated from clinical specimens, by month of sample collection, 2018-2021, Japan



(NESID病原体検出情報：2022年2月28日現在報告数)

[Infectious Agents Surveillance System: as at 28 February 2022 from prefectural and municipal public health institutes (PHIs)]

Infectious Agents Surveillance Report (IASR) 2022; 43: 79-81. 一部改変

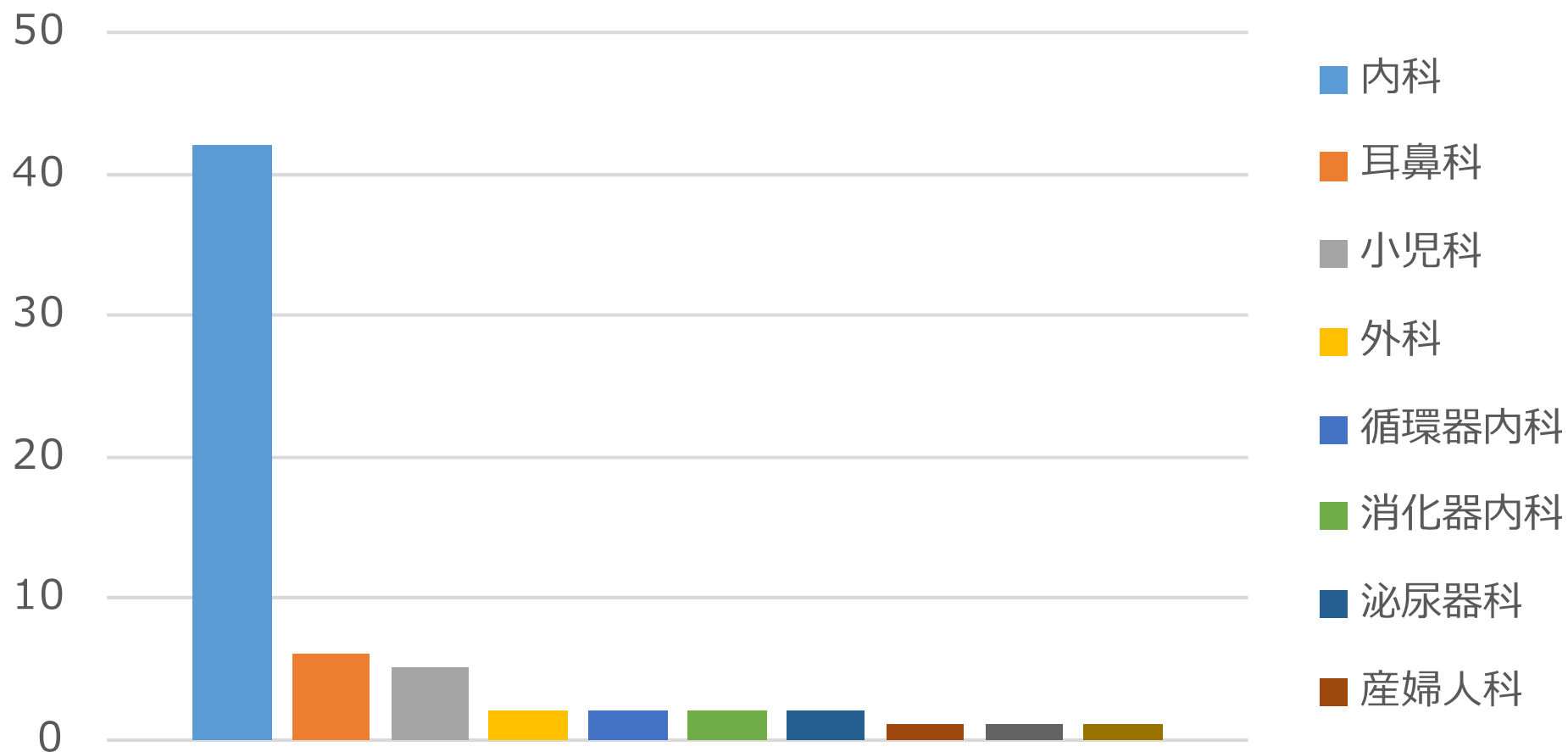


コロナ禍（感染対策・行動制限下）では、多くの呼吸器系ウイルス感染症の頻度が減少していたが、エンベロープを持たないライノウイルスは、ある程度の検出を認めている。

第3回 耐性菌サーベイランス結果

浜松市医師会 64施設から回答

第一標榜診療科



各施設における細菌培養検査の提出件数 (2022年10月～12月、3カ月間)

喀痰

提出件数	施設数
61	1
12	1
6	1
4	1
3	3
2	2
1	6
0	49

尿

提出件数	施設数	提出件数	施設数
510	1	4	2
142	1	3	2
23	1	2	4
22	1	1	2
17	1	0	41
14	1		
10	2		
8	1		
7	2		
6	1		
5	1		

便

提出件数	施設数
30	1
18	1
15	2
8	1
7	1
6	2
5	1
3	2
2	2
1	1
0	50

各施設における細菌培養検査の提出件数 (2022年10月～12月、3カ月間)

咽頭粘膜

提出件数	施設数
285	1
9	1
3	1
2	1
1	3
0	55

鼻汁

提出件数	施設数
14	1
2	1
1	3
0	59

膿

提出件数	施設数
7	1
5	1
1	4
0	58

皮膚

提出件数	施設数
5	1
2	1
0	62

婦人科分泌物

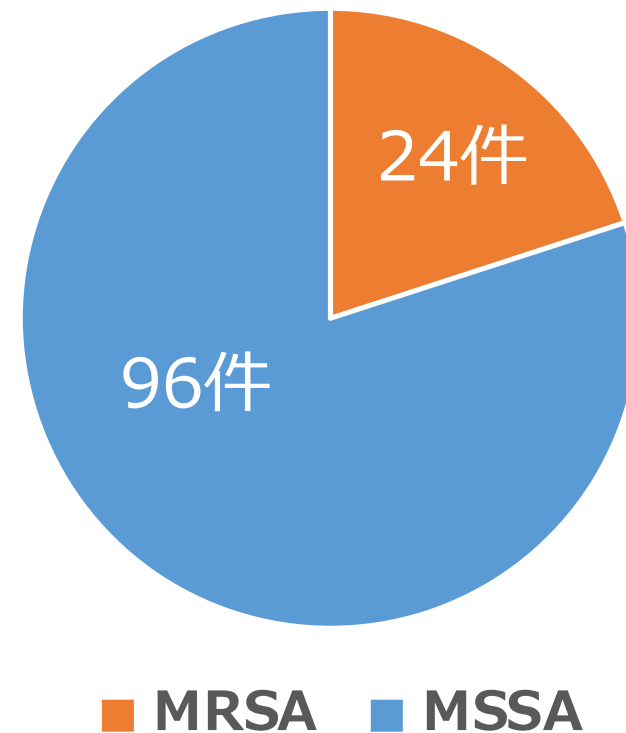
提出件数	施設数
11	1
0	64

耳垢・耳漏

提出件数	施設数
38	1
24	1
16	1
4	1
3	2
0	58

黄色ブドウ球菌検出におけるMSSAとMRSAの内訳 (2022年10月～12月、3カ月間)

黄色ブドウ球菌 検出件数	施設数
25	1
15	3
10	1
6	1
5	1
4	1
2	4
1	7
0	45
計 110 件	

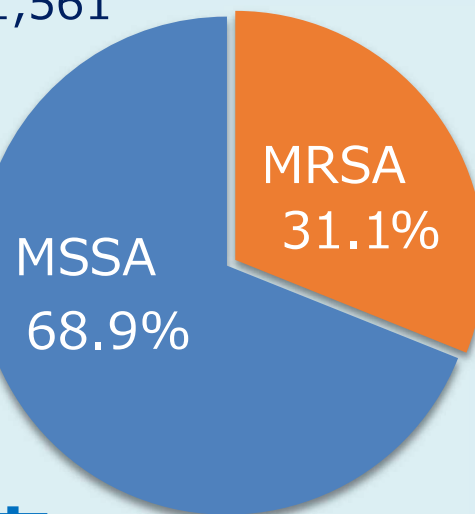


MRSA; methicillin-resistant Staphylococcus aureus
MSSA; methicillin-susceptible Staphylococcus aureus

浜松地区の病院におけるMRSA分離比率 (2022年度)

急性期病院
(8施設)

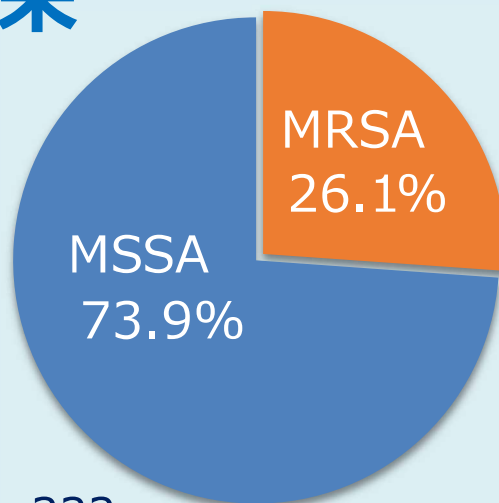
n=1,561



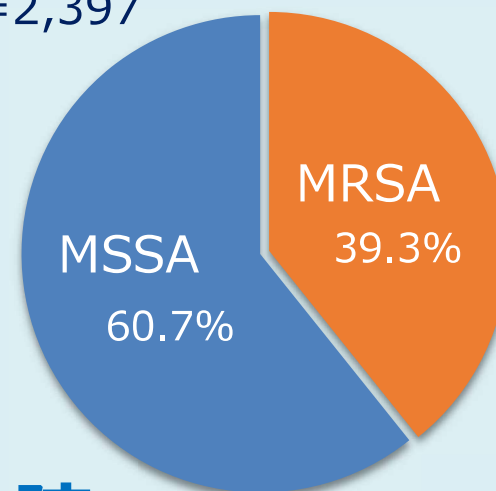
外来

慢性期病院
(15施設)

n=222

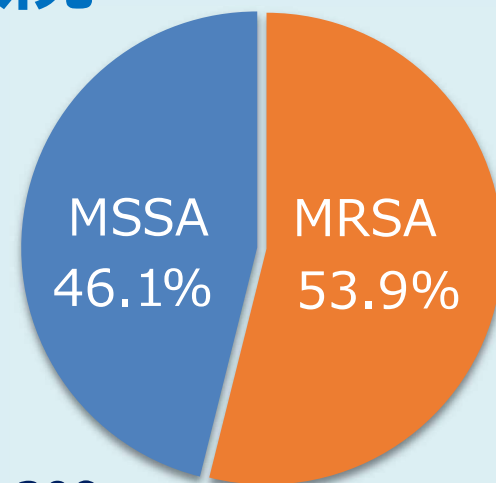


n=2,397

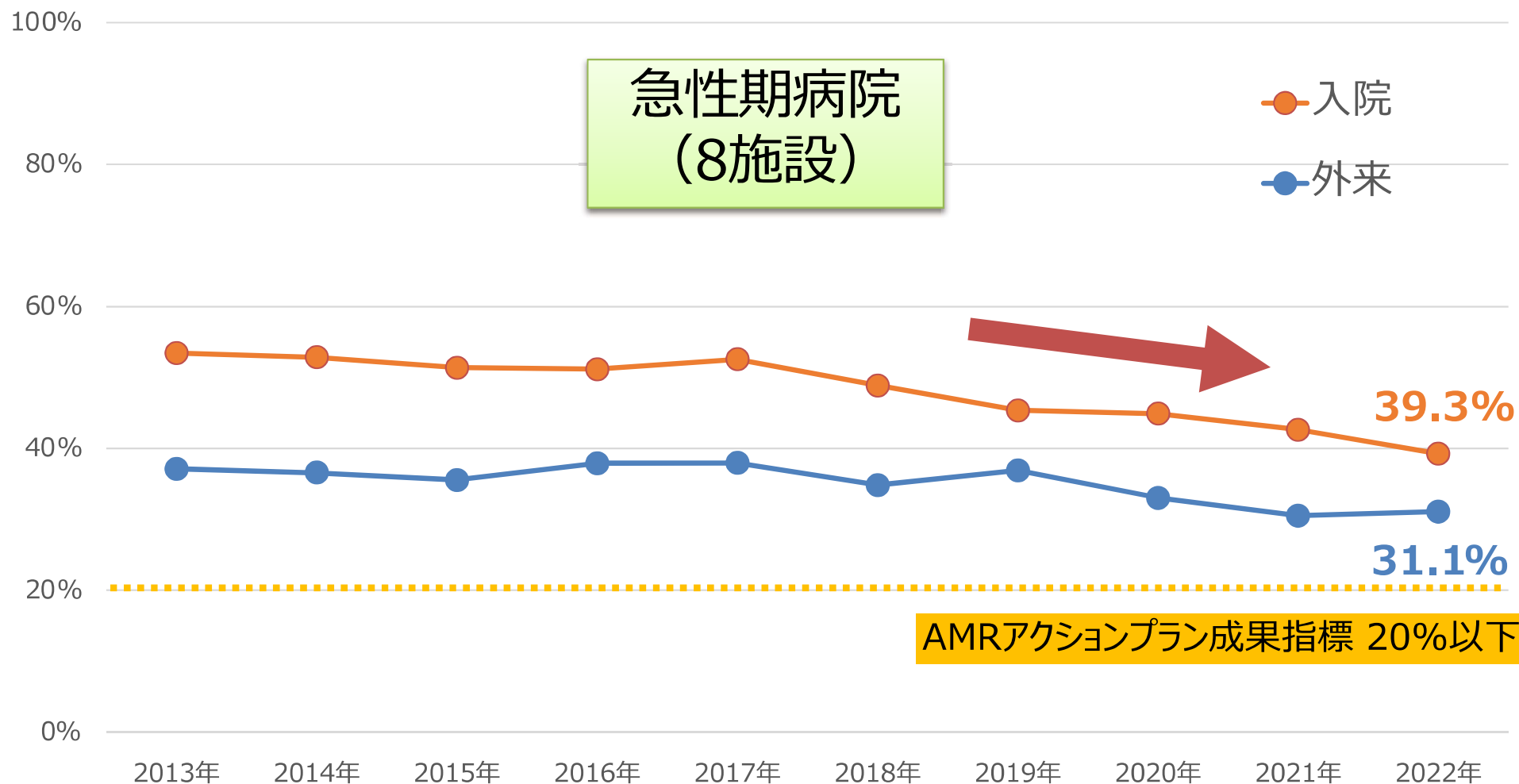


入院

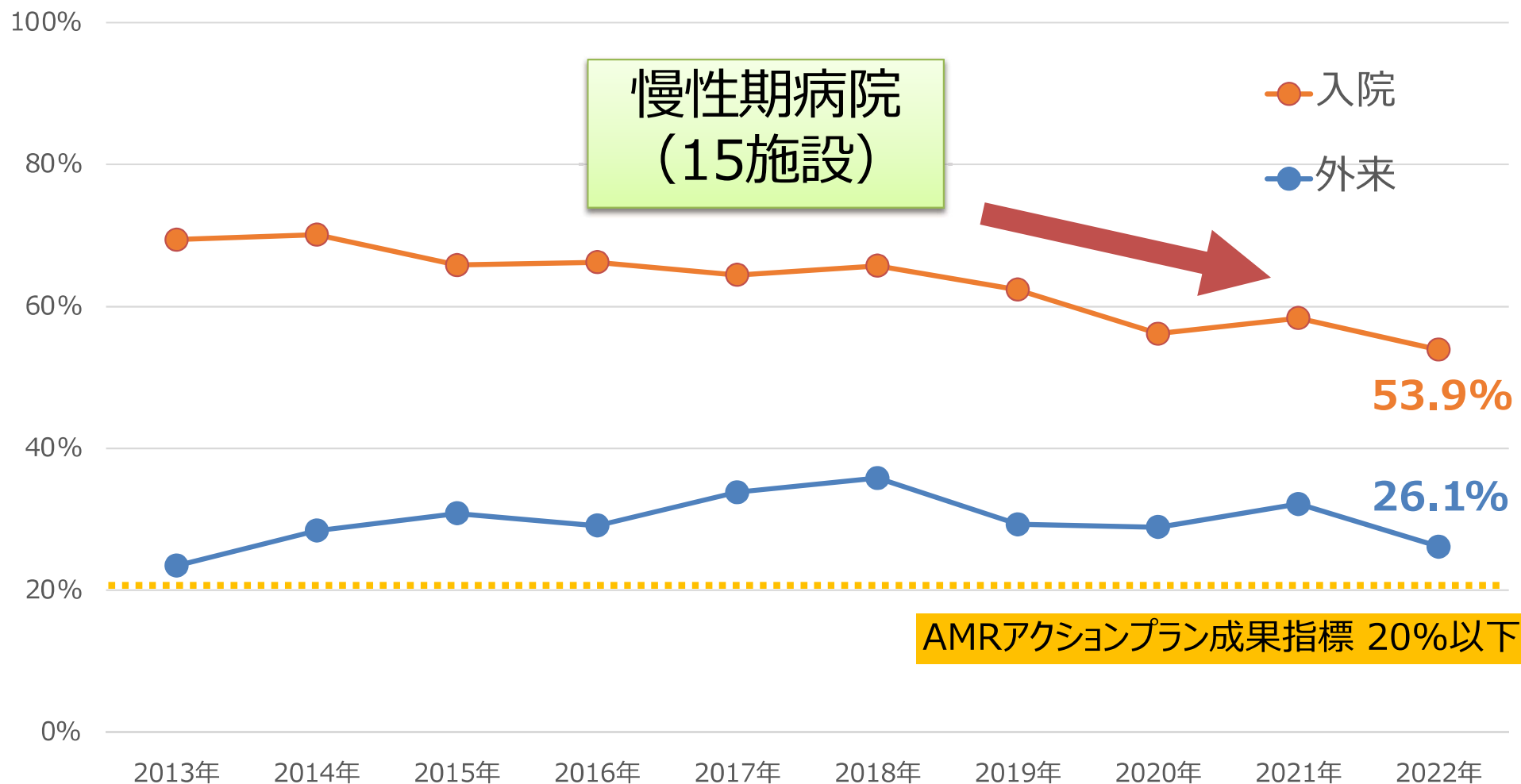
n=308



浜松地区の病院におけるMRSA分離比率 (10年の経年的変化)



浜松地区の病院におけるMRSA分離比率 (10年の経年的変化)

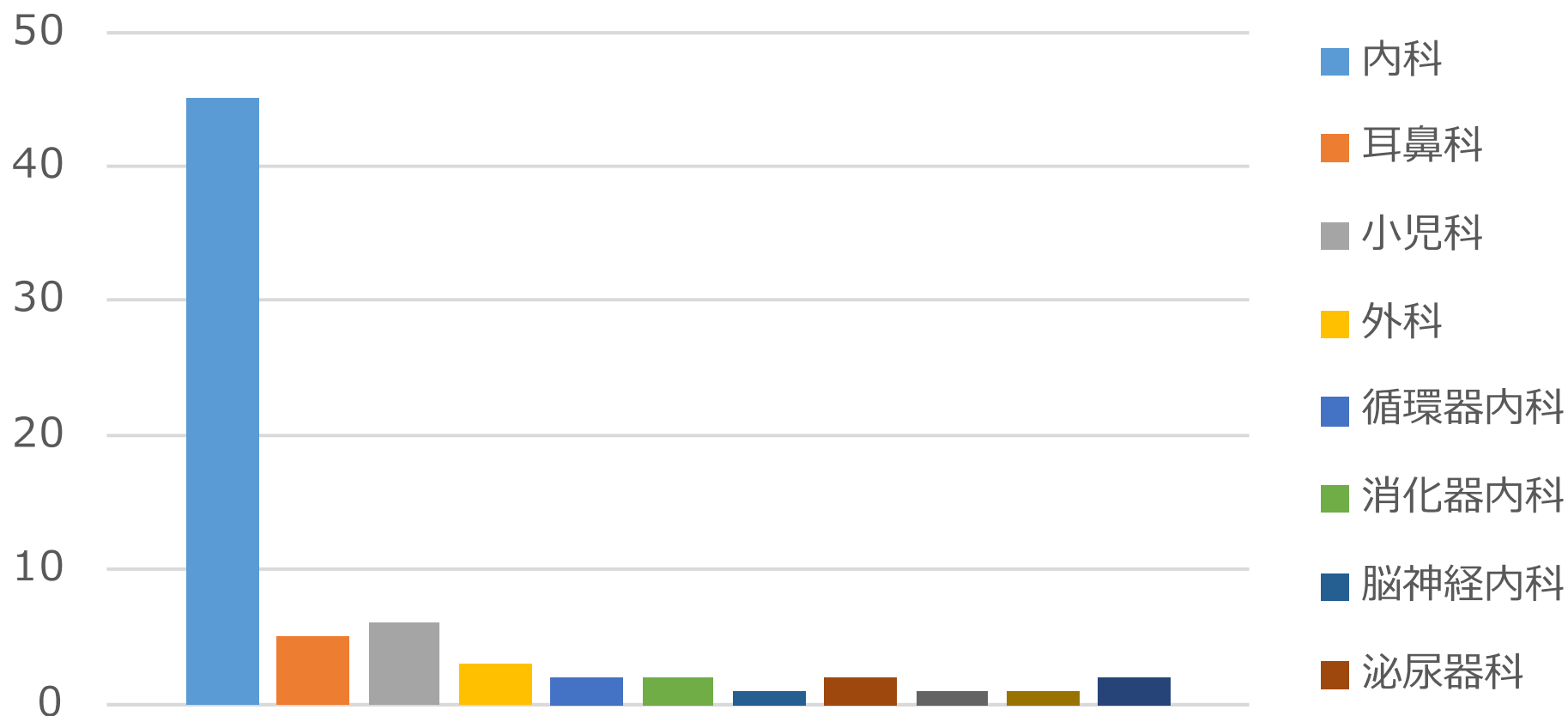


浜松地区のMRSA分離比率は、AMRアクションプランの成果指標には届いておらず、特に慢性期病院の入院事例で高率に検出されるが、全体としてはゆっくりと低下傾向にある。

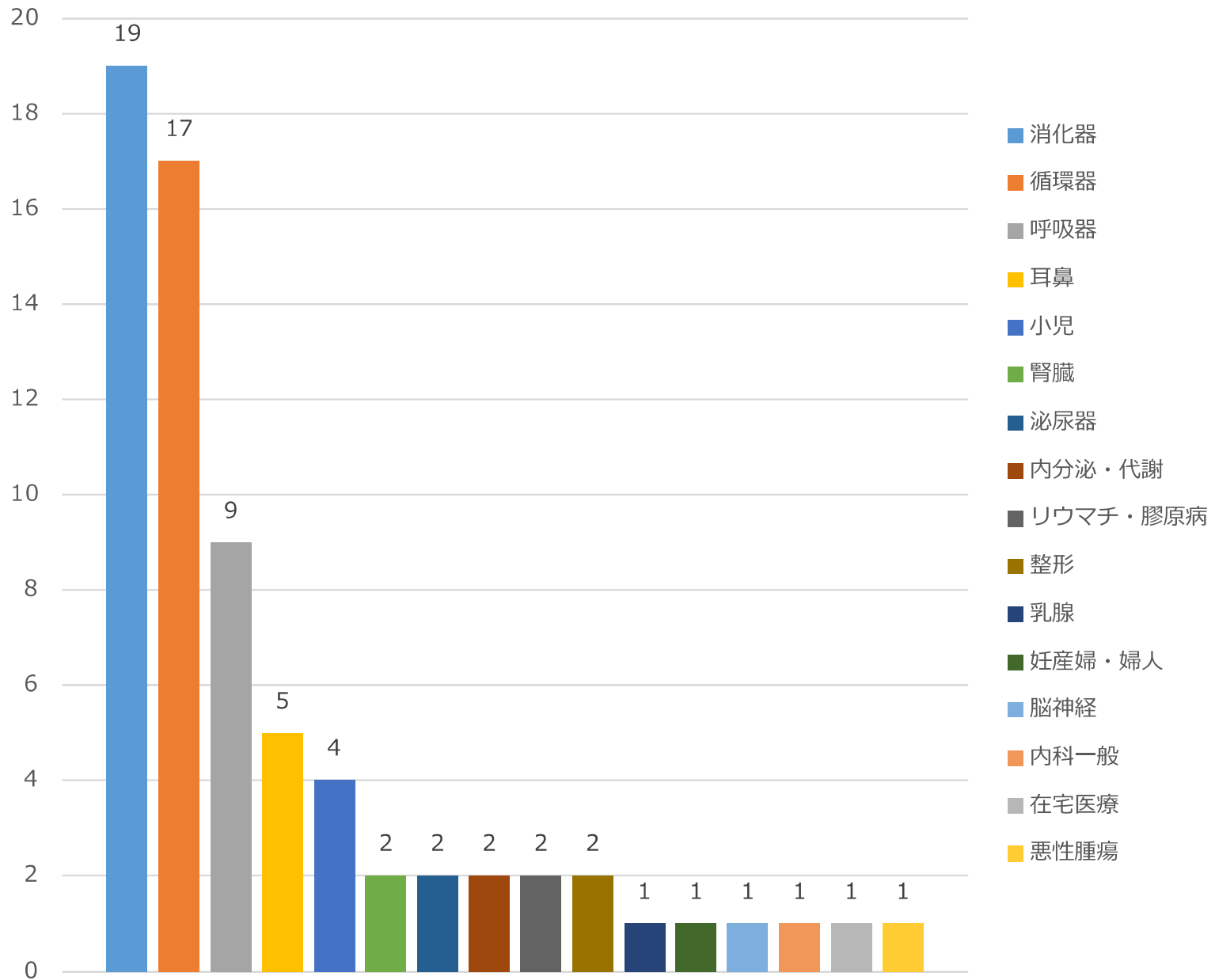
第4回 抗菌薬・抗ウイルス薬サーベイランス結果

浜松市医師会 70施設から回答

第一標榜診療科



各施設における専門領域



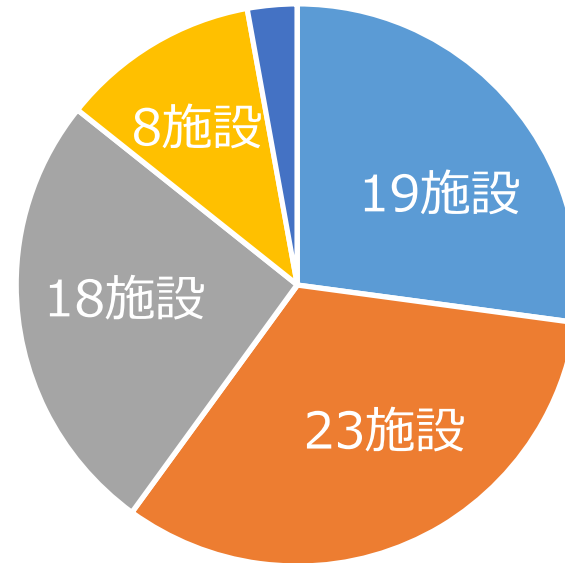
各施設において処方頻度が最も高い経口抗菌薬

マクロライド系

専門領域	施設数
呼吸器	4
消化器	2
循環器	2

キノロン系

専門領域	施設数
消化器	5
循環器	4
呼吸器	3
内分泌代謝	3
泌尿器	2
脳神経	1
内科一般	1
悪性腫瘍	1



- ペニシリン系
- セフェム系
- キノロン系
- マクロライド系
- その他
(ST合剤、処方なし)

ペニシリン系

専門領域	施設数
循環器	5
耳鼻	4
呼吸器	3
消化器	3
小児	2
膠原病	1
内分泌代謝	1

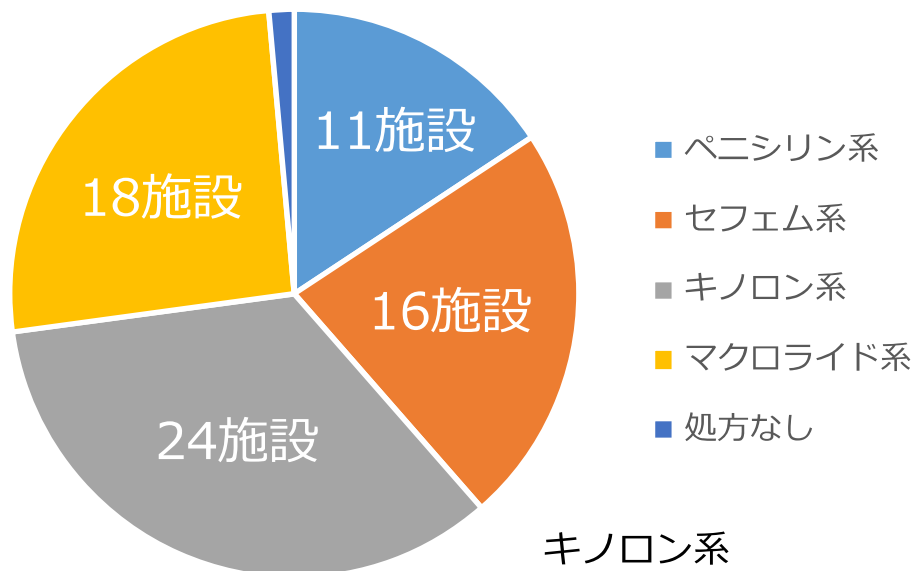
セフェム系

専門領域	施設数	専門領域	施設数
消化器	5	小児	1
循環器	4	産婦人	1
腎臓	3	耳鼻	1
整形	3	乳腺	1
泌尿器	2	在宅医療	1
膠原病	1		

各施設において処方頻度が2番目に高い経口抗菌薬

マクロライド系

専門領域	施設数
消化器	4
循環器	3
小児	3
膠原病	2
腎臓	2
耳鼻	1
産婦人	1
内科一般	1
悪性腫瘍	1



ペニシリン系

専門領域	施設数
循環器	4
消化器	4
耳鼻	1
整形	1
内分泌代謝	1

セフェム系

専門領域	施設数
呼吸器	5
循環器	5
消化器	3
脳神経	1
泌尿器	1
内分泌代謝	1

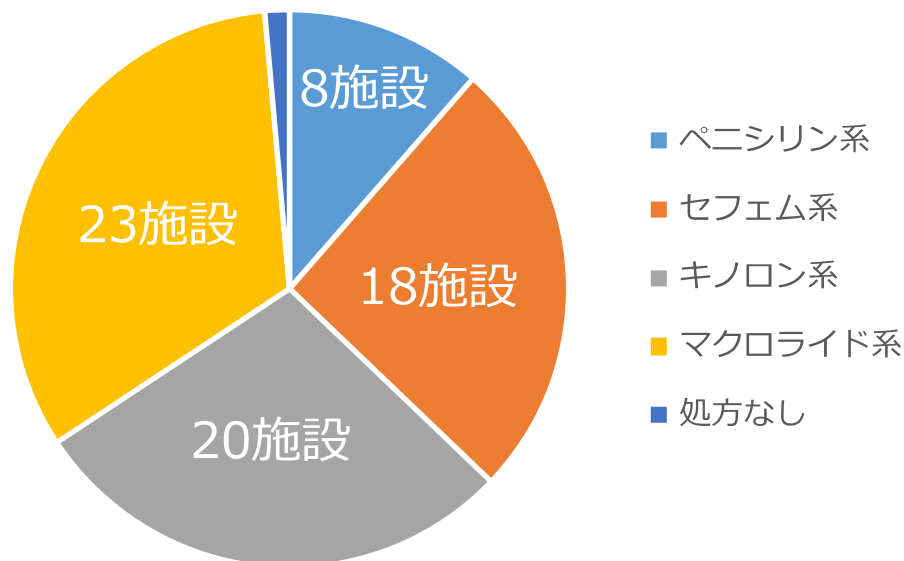
キノロン系

専門領域	施設数
消化器	8
循環器	5
呼吸器	4
耳鼻	3
整形	1
乳腺	1
泌尿器	1
在宅医療	1

各施設において処方頻度が3番目に高い経口抗菌薬

マクロライド系

専門領域	施設数
循環器	9
消化器	4
呼吸器	3
耳鼻	2
泌尿器	2
脳神経	1
乳腺	1
整形	1



ペニシリン系

専門領域	施設数
消化器	5
呼吸器	1
小児	1
在宅医療	1

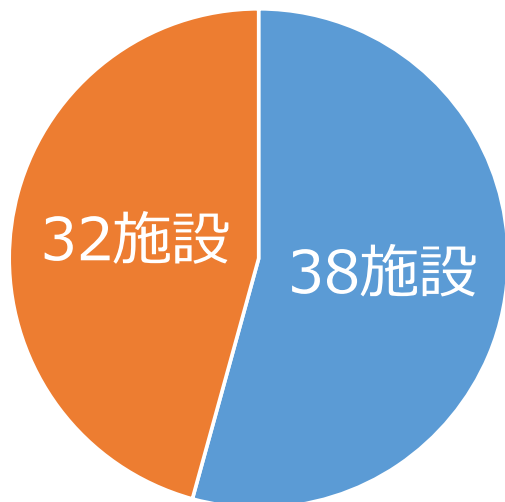
セフェム系

専門領域	施設数
消化器	5
循環器	4
呼吸器	3
小児	2
耳鼻	1
内科一般	1
悪性腫瘍	1
内分泌代謝	1

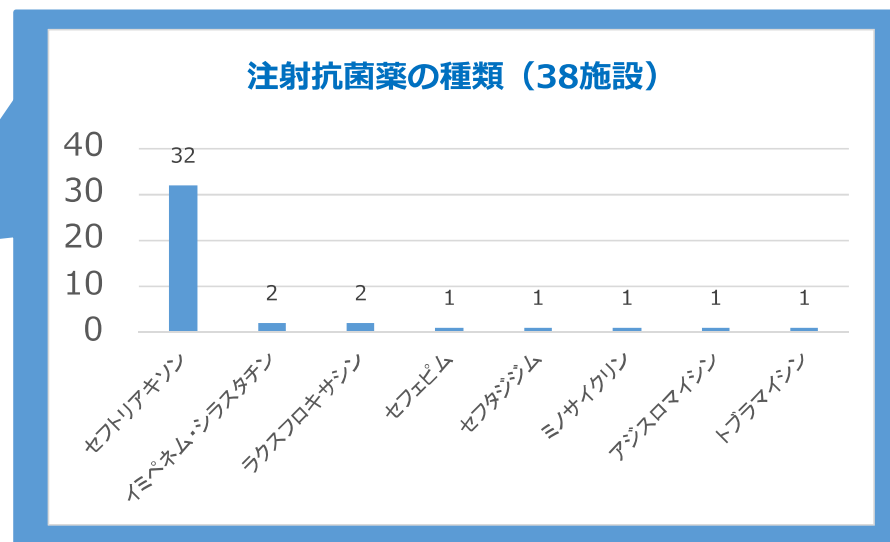
キノロン系

専門領域	施設数	専門領域	施設数
消化器	5	産婦人	1
循環器	4	整形	1
呼吸器	2	内分泌代謝	1
耳鼻	2		
腎臓	2		
膠原病	2		

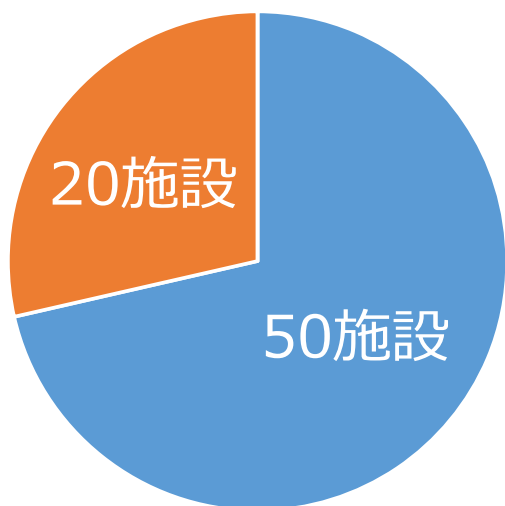
注射抗菌薬の使用状況



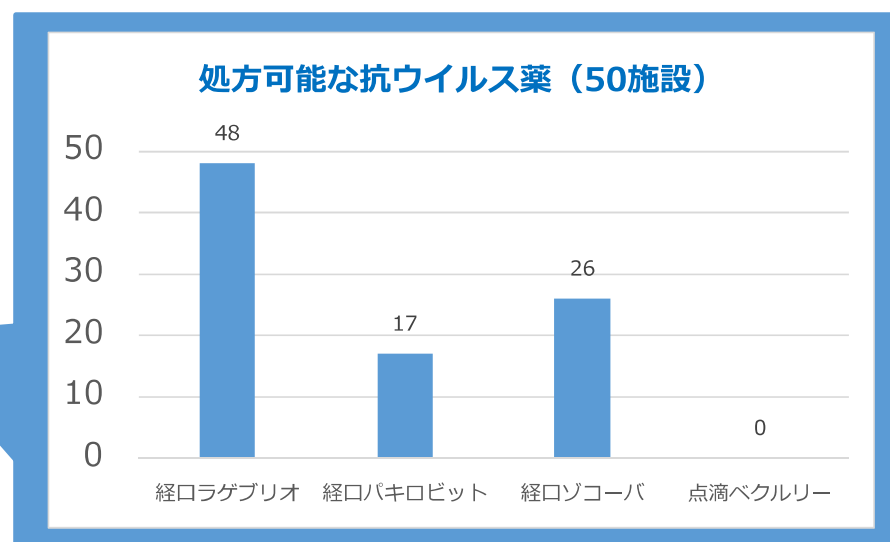
■ あり ■ なし



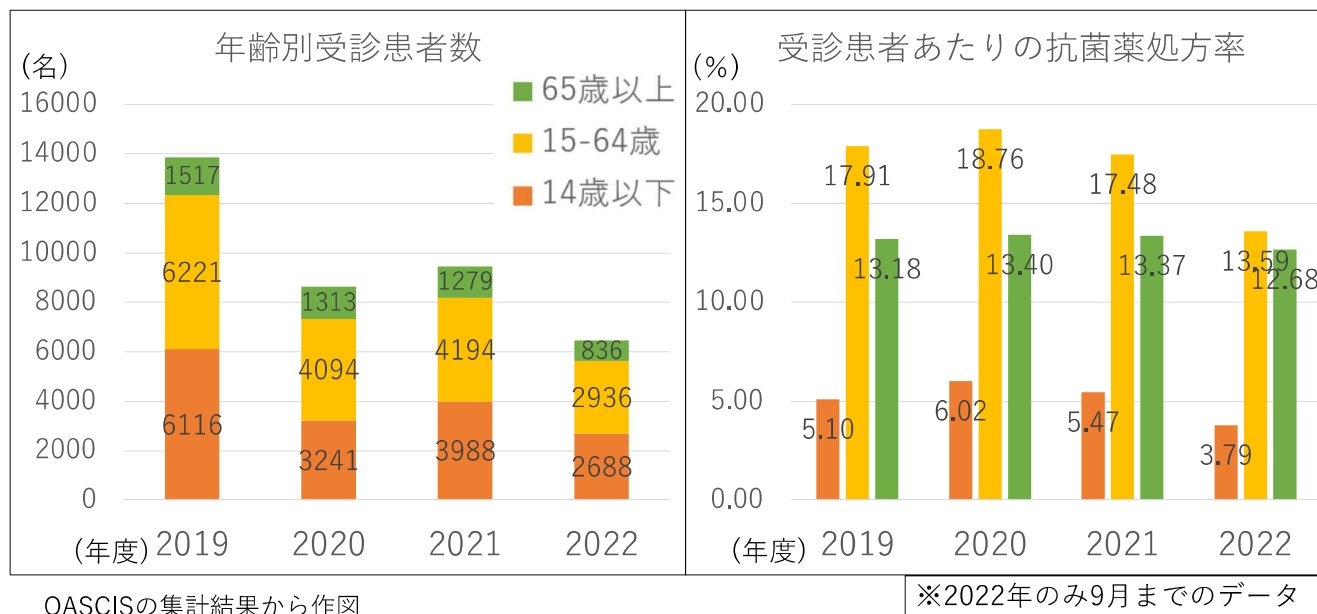
COVID-19 抗ウイルス薬の処方状況



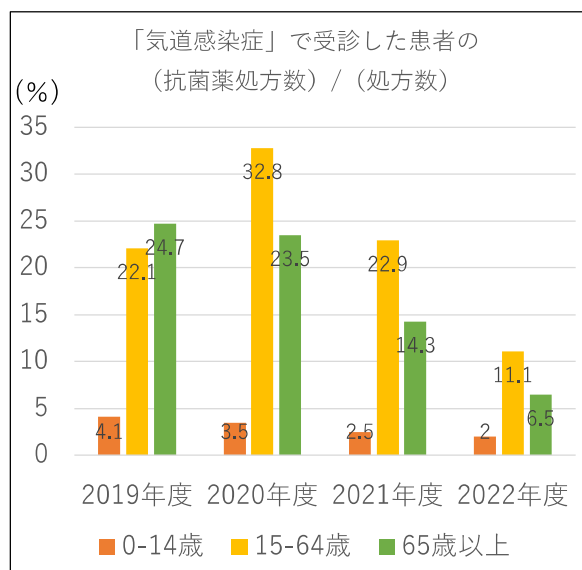
■ できる ■ できない



浜松市夜間救急室の抗菌薬使用状況 (2019年4月～2022年9月)

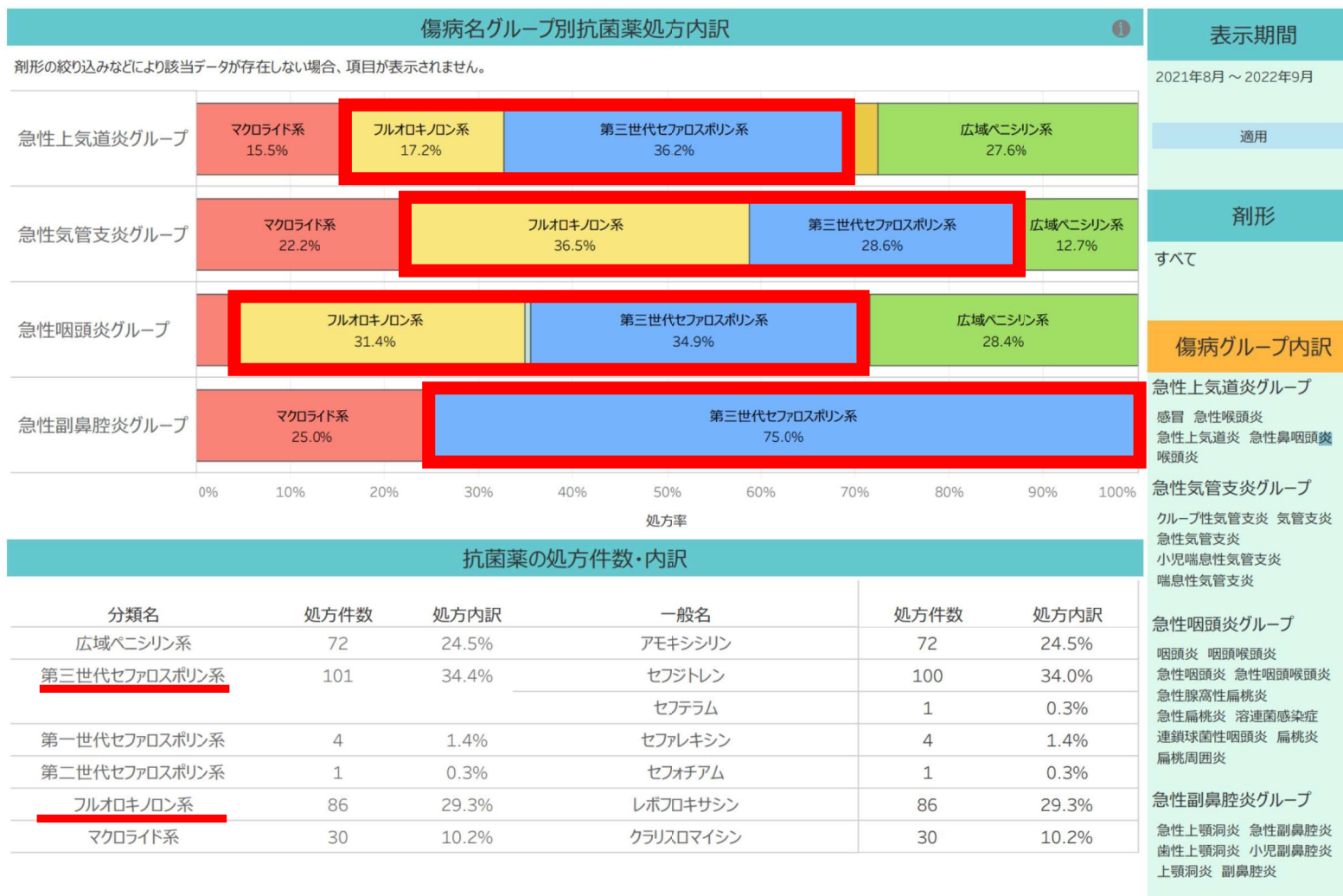


OASCISの集計結果から作図



令和4年度 (第11回) 浜松地区 感染対策地域連携を考える会
浜松医科大学小児科学講座 磯部裕介 発表

直近1年間の気道感染への抗菌薬処方割合



浜松市夜間救急室の抗菌薬処方は横ばい～軽度減少。
しかし広域抗菌薬の割合が多く、適正化の余地が残されている。

令和4年度 (第11回) 浜松地区 感染対策地域連携を考える会
浜松医科大学小児科学講座 磯部裕介 発表

2023年度 第1回 連携強化加算に伴うサーベイランス結果
2023年9月

アンケート調査

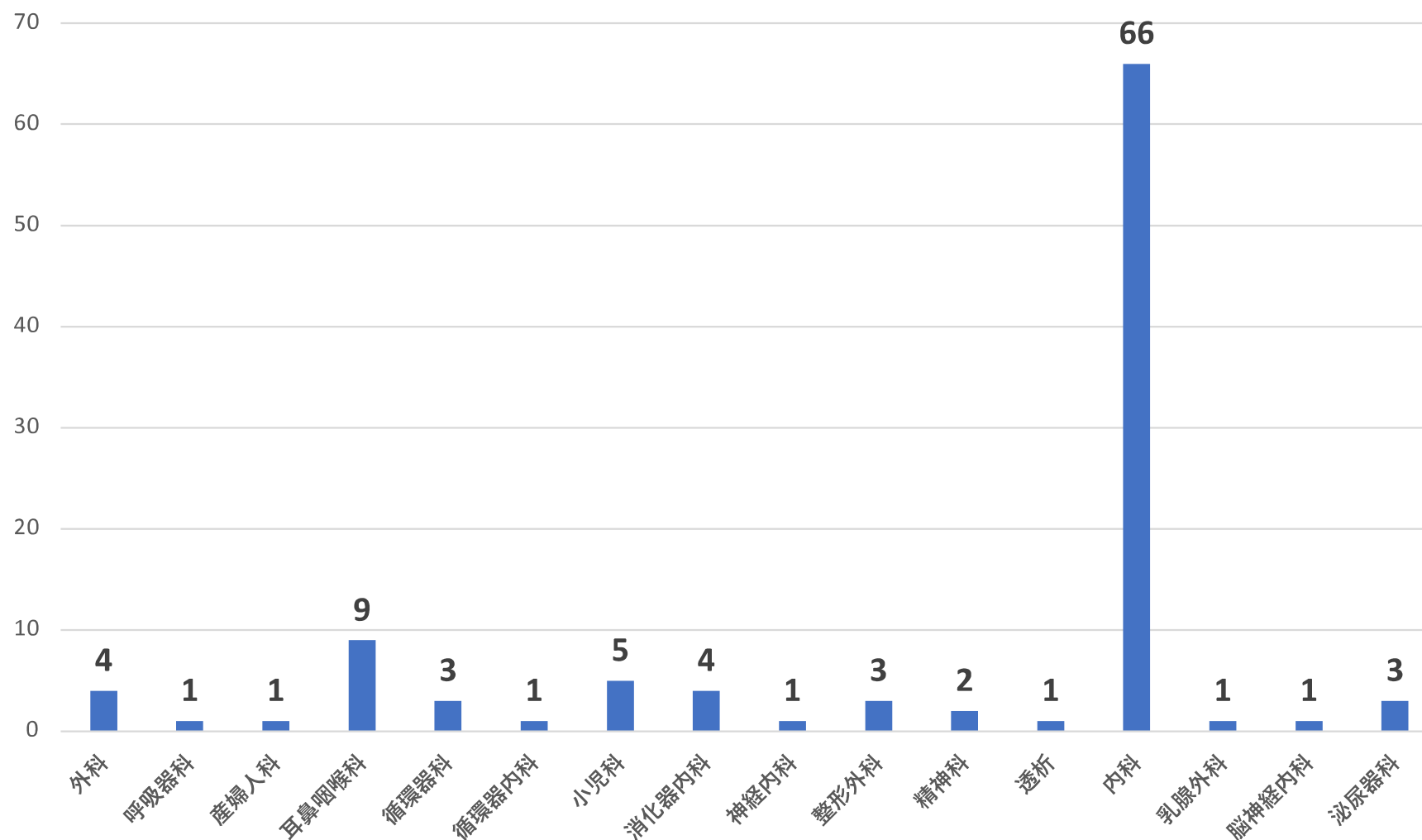
新型コロナウイルス感染症
5類移行後の診療について

回答数 106医療機関

標榜診療科

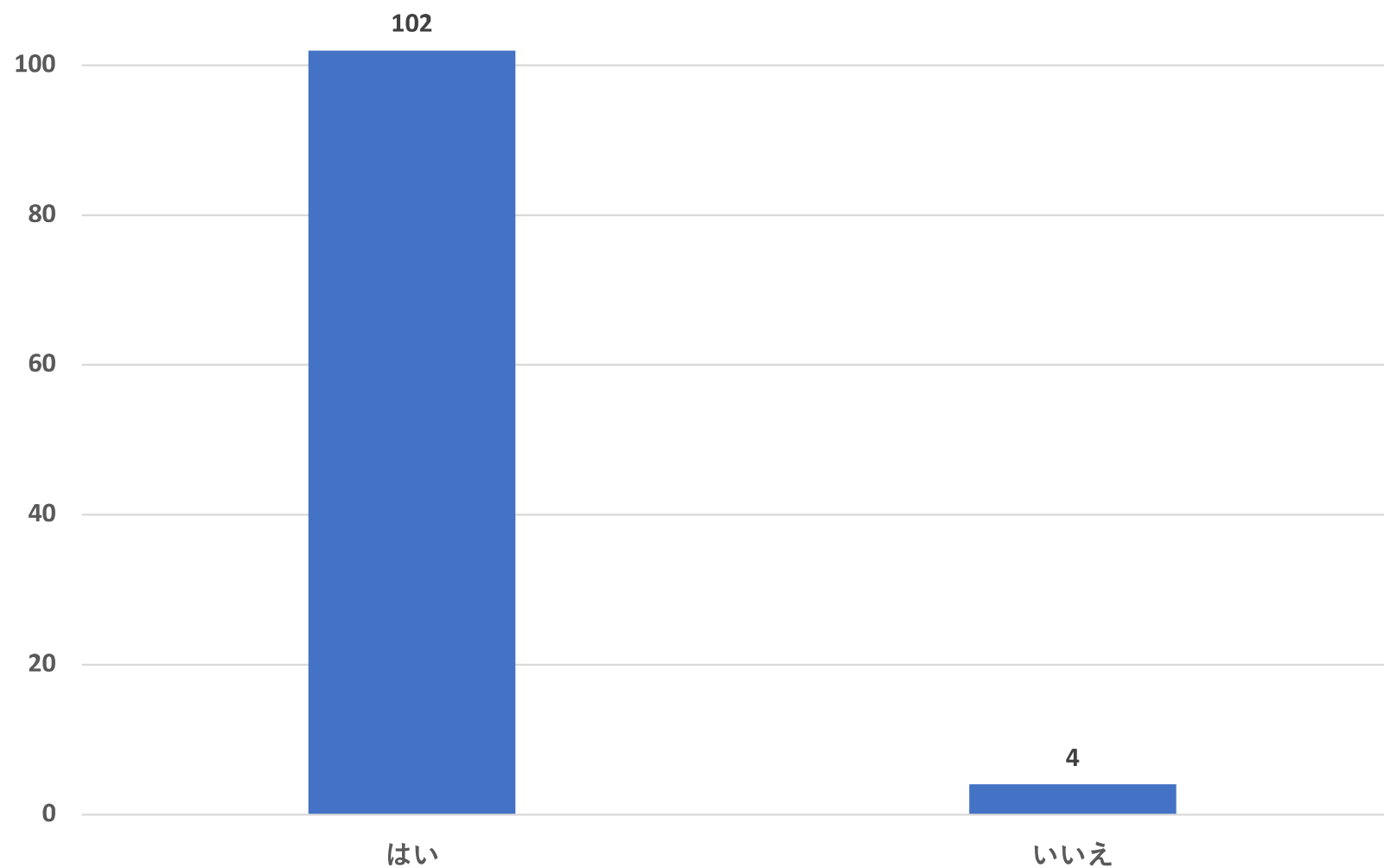
回答数 106医療機関

第一標榜診療科名



Q：1か月以内に新型コロナウイルス感染症患者の診療を行った

回答数 106医療機関



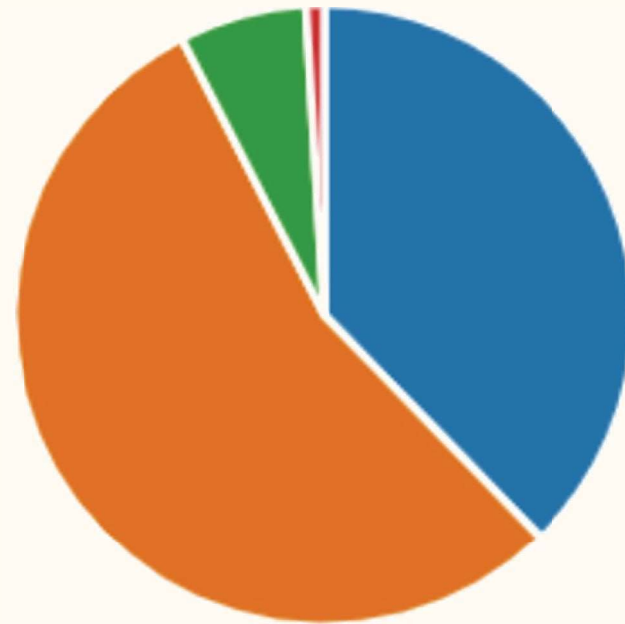
Q：新型コロナウイルス感染症を
疑った場合、待合場所を分けてい
る



●	はい（院内）	19
●	はい（院外）	79
●	いいえ（分けていない）	4
●	その他	4

その他：自家用車

Q：新型コロナウイルス感染症を
疑った場合、診察場所を分けてい
る



●	はい（院内）	40
●	はい（院外）	58
●	いいえ（分けていない）	7
●	その他	1

その他：専用の隔離場所

Q：新型コロナウイルス感染症を疑った場合の対応

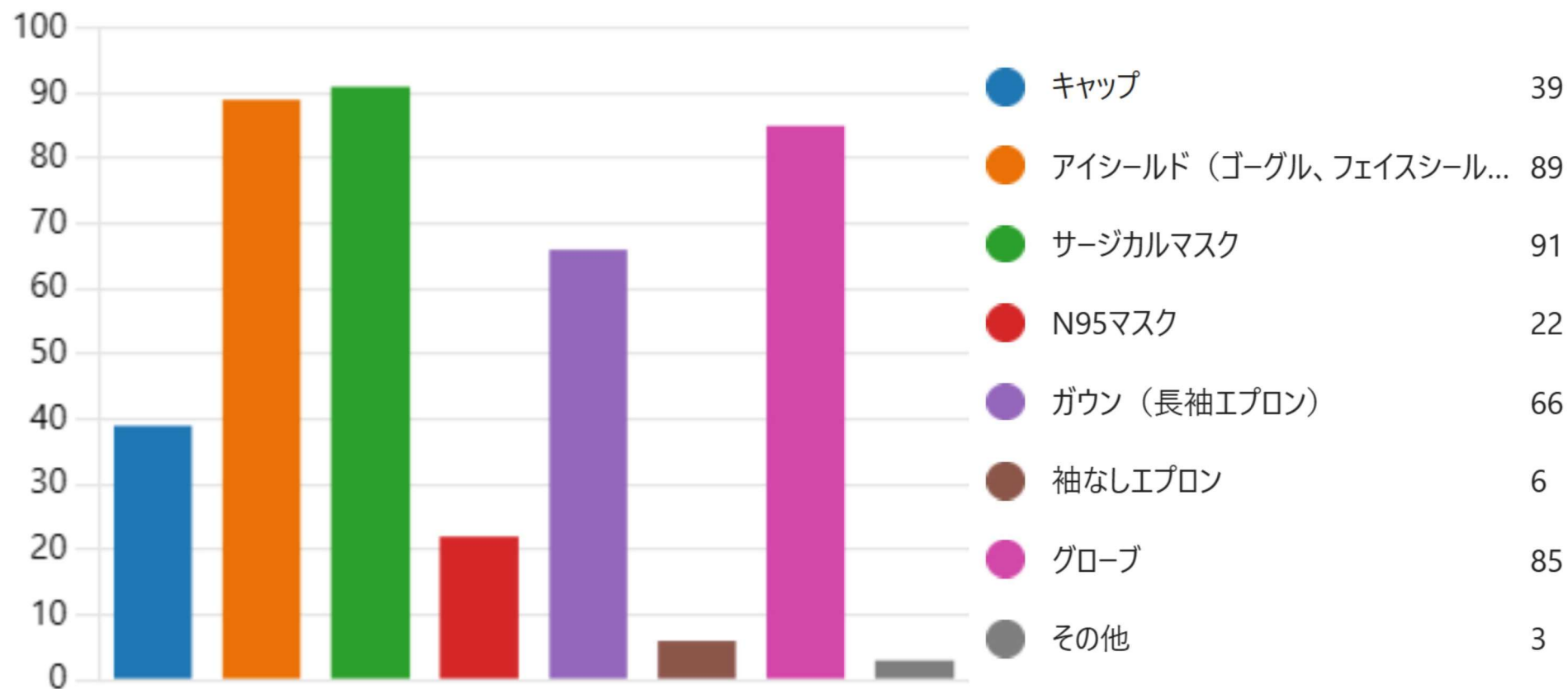
全ての外来受診患者に対して、病院入口や受付などでCOVID-19 を疑う症状（※）の有無について、体温測定や問診票を用いるなどして確認することが望ましいでしょう。コロナを疑う症状の有無に関わらず、ユニバーサル・マスキングとして、年齢、病状が許す限り患者にも不織布またはサージカルマスクの着用を求めます。

COVID-19 を疑う症状（※）のある患者には他の患者とは一定の距離を保つことが可能な専用の待機場所に案内し、できるだけ早く診察を行います。

※COVID-19 を疑う症状

咽頭痛（発症初期に咽頭違和感、嚥声が見られることがある）、発熱、咳、全身倦怠感、関節・筋肉痛、頭痛、鼻汁・鼻閉、下痢、嘔気・嘔吐、呼吸困難、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、など

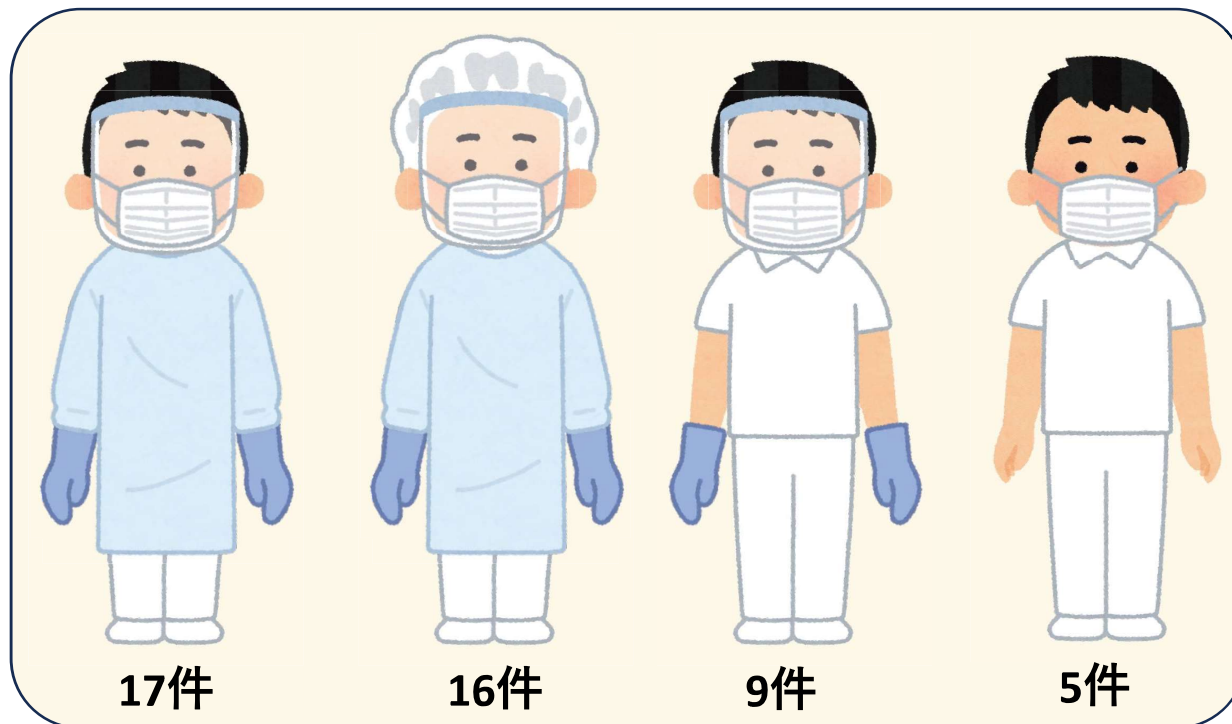
Q：新型コロナウイルス感染症患者、もしくは疑いのある患者の検査の際、防護具の選択はどうしていますか（複数選択可）



その他：院内（分けて）と院外とで天候や時刻により

Q：新型コロナウイルス感染症患者、もしくは疑いのある患者の検査の際、防護具の選択はどうしていますか（組み合わせ）

防護具の選択 上位4選

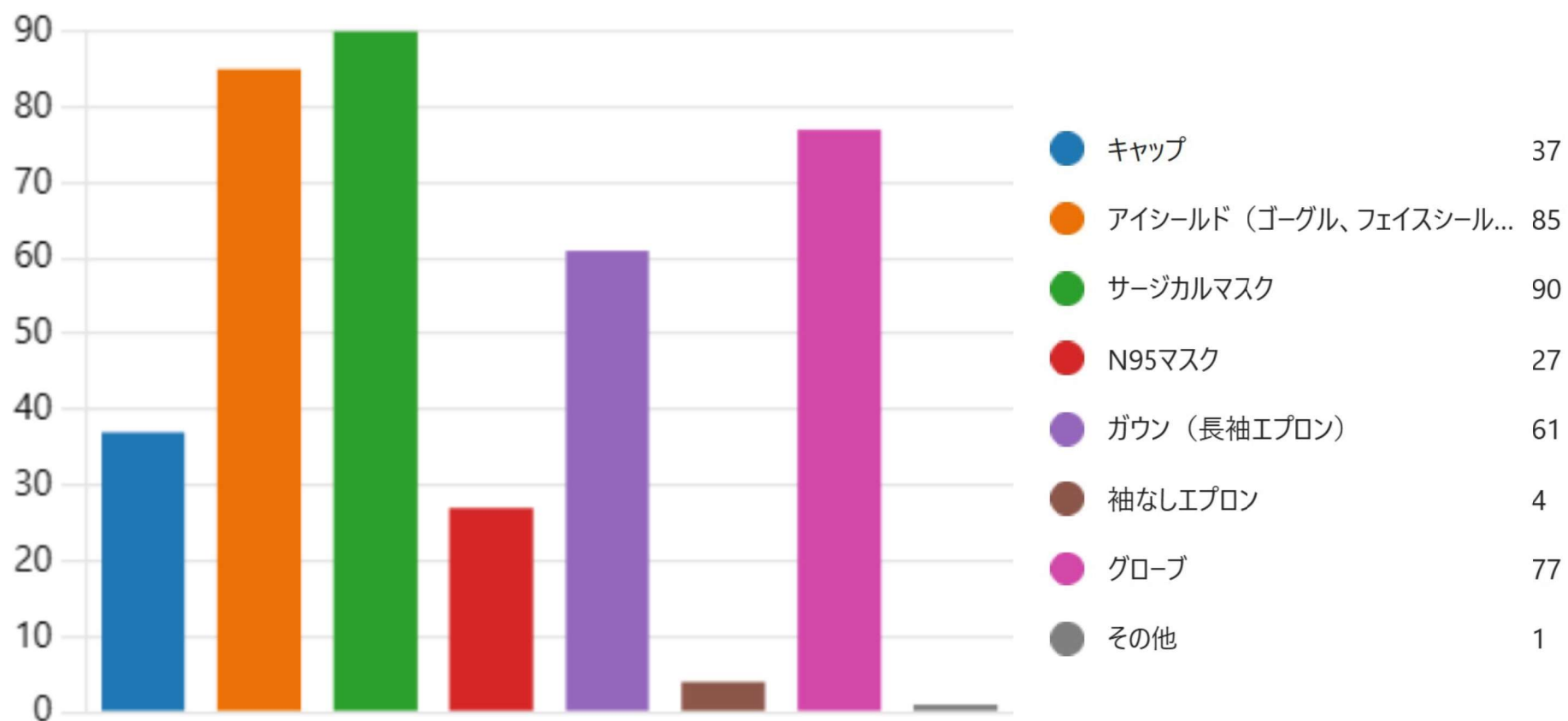


他 選択肢多数

その他 サージカルマスク;使い捨て45Lゴミ袋;
サージカルマスク;腕だけが入る検査ブースを設置している
専用のグローブ付きアクリル板を介して;

Q：新型コロナウイルス感染症患者、もしくは疑いのある患者診療の際、防護具の選択はどうしていますか（複数選択可）

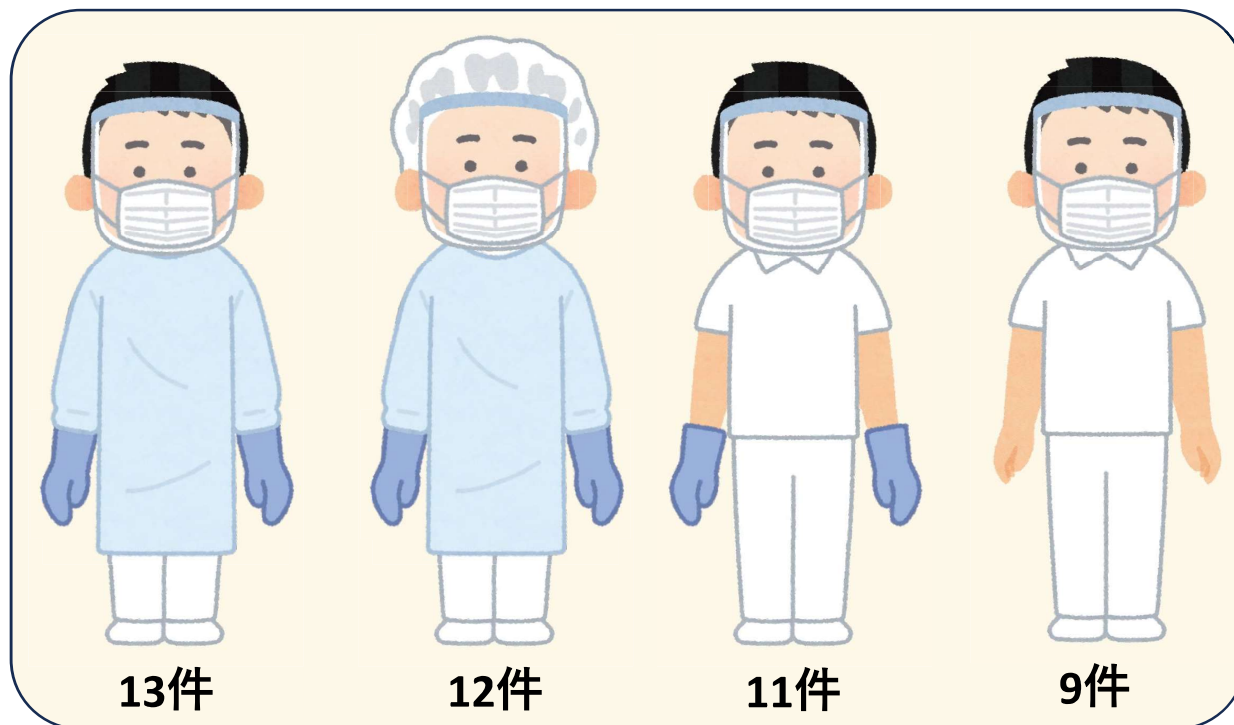
※患者がマスクを着用できることが前提



Q：新型コロナウイルス感染症患者、もしくは疑いのある患者診療の際、防護具の選択はどうしていますか（組み合わせ）

※患者がマスクを着用できることが前提

防護具の選択 上位4選



他 選択肢多数

その他 パーテーション